

第七十九回帝國議會
衆議院

日本銀行法案外二件委員會會議錄(速記)第八回

付託議案
日本銀行法案(政府提出)(第一七
號)
臨時金庫法案(政府提出)(第
一八號)
臨時資金調整法中改正法律案(政
府提出)(第一九號)

會議

昭和十七年二月二日(月曜日)午後一時十八
分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 板谷 順助君

理事橫川 重次君 理事田村 秀吉君

理事中田 儀直君 理事長井 源君

理事坂東幸太郎君 理事龜井貫一郎君

理事本田 英作君

井阪 豐光君

內藤 正剛君

矢野庄太郎君

田中 耕君

菊池 良一君

豐田 豐吉君

石坂 豐一君

太田 理一君

武田德三郎君

南雲 正朔君

山本 桑吉君

栗山 博君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 賀屋 興宣君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省理財局長 山住 克己君

大藏省銀行局長 山際 正道君

大藏省爲替局長 原口 武夫君

大藏省會社部長 田中 豐君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
日本銀行法案(政府提出)

戰時金融庫法案(政府提出)

臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)
○板谷委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、此
ノ際諸君ニ御諒解ヲ得テ置キタイコトガア
リマス、今日マデ八回委員會ヲ開イタノデ
大體政府委員ニ對スル質問ハ終ツタモノト
存ジテ居ルノデアリマスガ、大臣ニ對スル
質問ガマダ多數殘ツテ居ルノデアリマス、
ソコデ先程理事會ヲ開キマシテ相談ノ結果、
出來得ルナラバ今日大臣ニ成ベク御出席ヲ
願ツテ居ツテ、出來ルダケ諸君ノ御質問ニ
答フルヤウニ御願ヒラシテ置キタイと思フ
ノデアリマスガ、恐ラクハ本日中ニ質問終
了ハ中々困難ダト考ヘマス、ソコデ明日午
前中更ニ開キマシテ、明日ハ大體ニ於テ質
問ヲ打切りタイト考ヘテ居リマス、其ノ上
デ各派ノ態度ヲ御決定ヲ願ツ、五日ノ本
會議ニ上程スル運ビニシタイ云フコトヲ、
先程理事會ニ於テ大體打合セテ致シタ譯デ
アリマス、豫メ御承知置キテ願ツテ置キマ
ス、ソレカラ大臣ニ對スル質問ノ通告ガマ
ダ十名殘ツテ居リマスガ、出來ルダケ諸君
ニ於テカレマシテモ自制ヲサレマシテ、大體
ニ於テ二十分乃至三十分位ノ程度ニ於テ、質
問ノ要領ダケヲ御發言願フヤウナ運ビニシ
タイと思フノデアリマス、武田君ノ質問ハ
マダ二、三點殘ツテ居ルト云フコトデアリマ
スガ、併シ大臣モサウ始終御出席モ困難ノ
コトト考ヘマスノデ、成ベク委員諸君ノ多
數ノ方々ニ御満足ヲ與ヘルヤウニ公平ナ取扱

ヲシタイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ
デ西川貞一君ハマダ一回モ質問ヲサレテ居
リマセヌノデ、同君ニ於テカレマシテモ今私
ガ申上ゲル趣旨ニ基イテ、成ルベク三十分前
後ニ於テ質問ヲ終了スルト云フ御考ヘノ下
ニ御質問アランコトヲ希望致シマス——西
川貞一君

○西川委員 我ハ先日來武田委員ニ對スル
大藏大臣ノ御答辯ト、御提出ニナリマシタ
法律案トノ間ニ、ドウモ了解ノ出來ナイ點
ガゴザイマスノデ、此ノ點ニ付テ明瞭ニ致シ
タイと思フノデアリマス、私ハ管理通貨デア
ルカラ反對トカ、ドウ云フ制度デナケレバ
贊成出來ストカ、自分ノサウ云フ意見ヲ前
提トシテ質問スルノデナクテ、唯物ノ本質
ヲ明カニシテ政府ノ方針ヲ明瞭ニ致シタイ
ト云フコトガ、私ノ御尋ネ致シマスル目的
デゴザイマスカラ、左様ナ意味ニ於テ明瞭
ニシテ戴キタイ、一月二十七日ノ委員會ニ
於テ大藏大臣ハ斯ウ云フ答辯ヲサレテ居ル
ノデアリマス、武田委員ニ對シマスル答辯
ノ末尾ニ、速記録ヲ見マスルト、併シナガ
ラ是ガ爲ニ國內通貨ノ價值ノ基準ヲ金ニ置
カナケレバナラストハ考ヘテ居ナイノデア
リマシテトアリマスガ、通貨ノ價值ノ基準
ト云フ言葉ハ、貨幣法上用ヒラレテ居リマ
ス所ノ價格ノ單價ト云フ言葉ト同ジ意味デ
アラウト思ハレル、通貨ノ價值ノ基準、詰
リ通貨全體ニ對スル價值ノ裏付ケト云フ意
味デハナクシテ、物ノ單位ヲ現ハシタ意味

デハナイト、此ノ御答辯デハ受取レルノデア
リマス、サウデアアルト致シマスナラバ、當
然貨幣法ヲ廢止サレナイト其ノ筋ガ通ラヌ
ノデハナイカ、私ガ一寸其ノ點ニ付テ指摘
致シマシタニ付キマシテハ、大臣ハ斯ウ云
フ答辯ヲサレテ居ル「法律上ノ無制限ノ通
貨力ト致シテ居リマスカラ、事實上金本位
ヲ脱却シテ居リ、ソレデ私モ申上ゲテ居ル、
貨幣法モ追ツテハ改正ノ手續モ必要ダと思
ヒマスガ、只今修正ノ必要モゴザイマセヌ
ノデ其ノ儘ニ致シテ居リマス」斯ウ言ハレ
テ居ルノデアリマスケレドモ、物ノ方針ヲ
明カニスル爲ニハ修正ノ必要ガアルノデア
ナイカ、修正ヲシテシマヘバ明瞭ナノデア
リマス、通貨ノ價值ノ基準ヲ金ニ置カナイ
デ、金カラ完全ニ離レテシマフト云フコト
ニナリマシタナラバ、貨幣法ハ當然廢止サ
レルノガ筋ガ通ルノデアリマス、大イニ必
要ガアルト思フノデアリマスガ、サウデナ
シニ、貨幣法ノ或ル條文ニ對シテハ當分ノ間
之ヲ適用シナイ、當分ノ間ト云フ意味ハ非
常ニ誤解ヲ生ムノデアリマス、當分ノ間ガ
濟シダナラバ、ヤハリ其ノ貨幣法ノ當該條文
ガ生キテ來ルノデアアルカト云フヤウナ疑念
ハ當然ソコニ起ツテ來ルノデアリマス、大
臣ノ御趣旨カラ致シマス、貨幣法ハ廢止
サレルカ、或ハ價格ノ單位ニ關シマスル點
ハ根本的ニ修正ヲ必要トスルコトハ私ハ當
然ト思フノデアリマスガ、之ヲナセ廢止サレ
ナイノデアアルカ、ナゼ制度ノ上ニ此ノ儘ニ置イ

テオカレルカ、而モ大臣ノ説明ニ於テハ斯
ウ云フ風ナ意思ハ明カノヤウデアリマスガ、
其ノ意思ガ制度ノ上ニ徹底スルヤウニナゼ
御修正ニナラナイノデスカ、ドウ云フ譯デ
御訂正ニナラナイノデアルカ、其ノ點ヲ先
ヅ御伺ヒシテ置キタイノデアリマス

○賀屋國務大臣 貨幣法ヲ改正スル必要ガ
アリマスコトハ御述ベノ通りデアリマス、
私モ改正シタガ宜イト思ツテ居リマス、唯
今年ハ戰爭遂行ニ必要ナル法律案ニ限ツテ
提案スルト云フ政府ノ方針デゴザイマスノ
デ、貨幣法ハ改正シナクテモ一向差支ヘナ
イノデアリマスカラ、後廻シニシタノデア
リマス、追テ改正致シマス

○西川委員 追テ改正サレルト云フ意圖ヲ
明カニサレタ譯デアリマスカラ、ソコデ御
尋ネシタイノデアリマスガ、貨幣法ハ追テ
改正サレル、然ラバ大體ドウ云フ風ナ取扱
ニスルカト云フ點ニ付テハ御考ヘハ決マツ
テ居ルコトデアラウト思ヒマスカラ、此ノ
際御聽キシタイノデアリマスガ、貨幣ノ
價格ノ單位ニ付テハ、然ラバ金以外ノ何物
カノ價格ヲ以テ、通貨ノ價格ノ單位トシテ
御認メニナルノデアルカ、又價格ノ單位ハ
モウサウ云フ風ナ物のナルモノヲ基礎トセ
ズニ、全然名目的ナモノデ宜シイ、例ヘバ價
格ノ單位ハ之ヲ圓トスルト云フダケノ表示
デ宜イ、何々ヲ以テ價格ノ單位トシテ之ヲ圓
ト稱スルト云フヤウニ、物ニ依存スル必要
ハナイト云フ御考ヘデゴザイマセウカ、此
ノ點ハ通貨政策ニ對シマスル根本的ノ點デ、
極メテ重要ナ點デアラウト思ヒマス、私
ハ是非ノ議論ヲ致サウトハ考ヘテ居リマセ
ス、唯政府ノ方針ガ全然物ニ依存セズシテ、
獨立シタ一ツノ名目的ナ圓ノ單位ト云フモ

ノヲ押通シテ行カレル積リデアルカ、或ハ何カ
ヤハリ物ニ準據スルコトガ必要アルト考ヘラ
レルノデアルカ、此ノ點ヲ明カニシテ戴キタイ
○賀屋國務大臣 其ノ點ニ付キマシテハ、私ハ
今私見ヲ持ツテ居リマスガ、追テ貨幣法改正案
ヲ提案致シマシタ際ニ明瞭ニ申上ゲタイト
思ヒマス

○西川委員 ドウモ本案ニ依リマスレバ、
貨幣法ト云フモノハ此ノ際手ヲ着ケテ居ラ
レスケレドモ、事實上改正サレタト同ジ結
果デハナイカ、是ハハツキリト大臣モ言ハ
レマスヤウニ旗幟ハ鮮明デナクテハナラヌ
ノデアツテ、此ノ際日本ガ單ニ國內ノ經濟ノ
ミナラズ、大東亞ノ共榮圈全體ノ經濟ノ中
心トシテ、特ニ新シイ日本銀行ニ於キマシ
テハ大東亞ノ中央銀行トシテノ職能ヲ果ス
ト云フ此ノ重大場面ニ於テ、旗幟ハ鮮明デナ
クテハナラヌト云フコトヲ大臣モ言ハレテ
居ルノデアリマス、其ノ意味カラ致シマシテモ、
此ノ際此ノ重大ナル「ポイント」ニナル點デゴ
ザイマスカラ御聽キシタイト思フノデゴザイ
マスガ、御聽キ出來ヌノデゴザイマスカ

○賀屋國務大臣 日本銀行券ヲ無制限ニ強
制通用ヲ認メマシテ、金兌換ノ制度ヲ廢シ
マシタ以上、私ハ世間ハ明瞭ニ考ヘテ居ル
ト思ヒマス

○西川委員 只今閣僚ノ委員カラモ斯ウ云
フ御指摘ガアルノデアリマス、只今ノ大藏
大臣ノ答辯サレマシタコトト、政府委員ノ
答辯サレマシタコトトガドウモ違フ、山際政
府委員ノ御答辯デハ、尙ホ研究ノ必要ガア
ルカラ研究ヲシテ居ルノダト云フ御答辯デ
アツタヤウデゴザイマシタ、併シ大臣ハ既
ニ考ヘハ決ツテ居ルト云ハレルノデアリマ
ス、成程茲ニ御示シノ法律案ニ依ツテ大體

世間ハ納得シテ居ルト考ヘルノデゴザイマ
スガ、ドウモ私魯鈍ニシテ其ノ點ヲ、ソレ
ノミデハドウ云フ風ニ取ツタラ宜イカト云
フコトガハツキリシナイノデアリマスガ、
願クハ此ノ際世間モ既ニ納得シテ居ル所デ
アリ、大臣ノ肚モ決ツテ居ルコトデゴザイ
マスナラバ、ハツキリシタ大臣ノ言葉ヲ以
テ此ノ際一ツ御示シテ願ヒタイ

○賀屋國務大臣 日本銀行ニ兌換銀行券
ノ制度ヲ廢止シテ、金兌換ヲ本質的ニ廢
メマシテ、サウシテ無制限ノ通用力ヲ認
メテ居リマスノデ、經濟上金本位ヲ完全
ニ離脱シタト云フコトハ、私ハ世間ハ
實質上承認サレテ居リ、大體經濟ノ運行其
ノ他總テ是デ支障ガナイト思フ、今モ色
色御言葉ガアリマシタノデ、私ノ今カラ申
上ゲルコトハ或ハ蛇足カモ知レマセヌガ、
一應申上ゲマスト、日本ハ金貨ノ流通セザ
ル金本位國デ元カラアツタノデス、實質ハ
金爲替本位國デアツタ、形式ハ兎ニ角實質
ハサウデアリマス、ソレガ金ノ兌換ヲ停止
シマスシ、愈々實質ハ金爲替本位ヲ離脱シ
マシテ、近年ハ管理通貨制度ニ入ツテ居リ
マス、ソレヲ日本銀行法デ明確ニ致シマシ
タノデ、最早社會ノ經濟通念トシテハ何等ノ
支障ナク私ハ動クト思ツテ居リマス、金貨
デモ實際ニ流通シテ居ル國デアリマス、貨
幣法モ何モ變ヘテ行キマセヌト普通ノ通念
ハ變リマセヌケレドモ、實際ノ日本ノ通貨
ハ日本銀行券デ事實アルノデアリマス、ソ
レデ十分ニ行クト思ヒマス、ソレデ貨幣法
ノ改正ハ先程申上ゲマシタヤウナ理由デ、
今期議會ニハ提案致サナクテモ日本銀行法
ノ制定デ十分ニ間ニ合フ、片方ノコトハ寧
ロ制度ヲ形式的ニ整備スルニ止マルノミト

申シテモ宜イ位ナ點デアリマスカラ、追テ改
正シタイト思ツテ居リマス、又政府委員ノ
考究致シマスト云フノハ、サウ云フコトデ
ゴザイマスカラ、貨幣法ヲ改正致シマス場
合ノ文案ナドヲマダ練ツテ居ル譯デハアリ
マセヌノデ文案ナドハ完成スル時ニハ相
當面倒ナ所ガアラウト思ヒマス、私ノ肚ハ
決ツテ居リマスガ、其ノ點ハ書キ方ナドノ
關係ハ殘ツテ居ルノデアリマス

○西川委員 ドウモ私ノ御問ヒシテ居ルコ
トト、大臣ノ御答ヘ下サル點ガ少シ食違ツ
テ居ルト思ヒマスガ、モウ少シ明瞭ニ御答
ヘ願フ爲ニ尙ホ御聽キシタイト思ヒマス、
私ハ日本銀行券ノ通用力、サウ云フ方面ニ
於テ支障ガアルト云フヤウナコトヲ問題ニ
致シテ居ルノデハ全然ナイノデアリマス、
併シナガラ通貨ノ根本的ナ職能トシテハ二
ツニ分ケテ考ヘナクチャナラス、一ツハ一
般的ノ交換手段ナンデア、新シイ日本銀
行券ガ一般的交換手段トシテノ強制通用力
ヲ與ヘテ居ラレマスコトハ、此ノ法文ニ明
示サレテ居ル、併シナガラ通貨ノ他ノ基本
的ナ職能ノ一ツトシマシテハ、價格ノ計算
單位デナクチャナラス、此ノ價格ノ計算單
位ト一般的交換手段トシテノ職能ト、兼ネ
備フルモノデナクテハ、是ハ通貨デハナ
イ、然ルニ日本銀行券ハ一般的ナ交換手段
トシマシテハ此ノ御提案ニナツタ法律ニ依
ツテ其ノ能力ヲ付與サレテ居ルノデアリマ
スケレドモ、價格ノ計算單位トシテハ此ノ
法律ニ於テ基準ヲ與ヘテナイ、價格ノ計算
單位トシテハ、貨幣法ニ依ツテ初メテ價格
ノ計算單位ガ圓デア、其ノ圓トハ何ゾヤ
ト云フナラバ、金ノ一定量ノ價格ヲ以テ圓
ト稱スルノダ、是ハ一ツノ根本的ナ建前デ

アリマス、其ノ建前ハ、法律ハ改正ヲシナイケレドモ、自分ノ肚デハソレハモウ改メタノダ、自分ノ考ヘデハソレハ改メタノダト、斯ウ言ハレノデアリマス、ソコデ價格ノ計算單位トシテ、此ノ通貨ノ日本銀行券ノ職能ハ、將來ドウ持ツテ行カレルノデアルカ、此ノ日本銀行券ガ通用致シマス上ニ支障ガアルカト云フヤウナコトヲ私ハ問題ニスルノデアリマセスケレドモ、貨幣ノ根本的ノ、通貨ノ根本的職能ノ一ツデアル所ノ價格ノ計算ノ單位トシテ、其ノ點ハドウ云フ風ニナルノデアルカ、ドウモ押問答ノヤウデアリマスケレドモ、是ハ重大ナ點デゴザイマスカラ、其ノ點ハ能ク私ノ申上ダコトガ今マデ御分リ下サラナカツタヤウデゴザイマスカラ申上ゲルノデアリマスガ、此ノ點ハドウデアリマセウカ

○賀屋國務大臣 貨幣ガ交換媒介ニ使ハレテ居リマス時ニ、同時ニソレガ價值ヲ現ハシテ居ル、ソレハ一ツコトデゴザイマシテ、何等價格ノ尺度ニナラヌモノデハ交換ノ媒介ニハナリ得ナイ、現在金ト言フヨリモ、是デ以テ石炭ガ買ヘル、アレガ買ヘル、是ガ買ヘル、是ガ社會ノ價值ノ尺度デアリマス、ソレデ實際ニ通用シテ完全ニ行ツテ居リマス、價格ノ計算ノ尺度ニナラナケレバ媒介ニナリヤウガナイノデアリマス、ソコデ私ハ金ノ價值ト云フコトハ法律ニハ書イテアリマスガ、金ノ價值ト云フモノハ、モウ今マデ暫定法デドシノ變ツテ居リマシ、現ニソレガ各種ノ物資努力ト交換サレル所ノ、チャント社會的ニ經濟的ニ價值ヲ現ハシテ居ルト思ツテ居リマス

○西川委員 ソレデハモウ此ノ上押問答ヲ致シマセス、ドウモ其ノ點ハ私ハマダ奥齒

ニ物ノ挾マツタヤウナ感じガゴザイマシテ、ドウモ明瞭ニ了解シ得ナイノデアリマスケレドモ、同じ問題ヲ繰返スコトハ最早無用ダト思ヒマスカラ、差控ヘマス、然ラバ大體價格ノ單位トシテモ金ヲ離脱スル、サウシテ金ニ代ル何等カノ物ニ更ニ價格ノ單位ヲ求メルト云フヤウナコトハシナイ、大體圓ト云フモノハ一ツノ物價相互ノ關係デアリ、詰リ今後ノ物ノ價格ト云フモノハ、金ノ價格ト他ノ商品ノ價格トノ比率ヲ現ハスモノデハナクシテ、交換サルベキ所ノ商品ト商品トノ交換ノ比率ヲ現ハスノガ物價デアリ、從來ハ通貨ノ價值ノ單位ヲ金ト云フ物質ニ依存シテ居リマシタ爲ニ、事實上ハ我が國ハ近來サウハナツテ居リマセスケレドモ、觀念上ニ於テハヤハリ金ト他ノ商品トノ交換比率ヲ現ハスト云フコトニ、貨幣制度ノ上ノ觀念トシテハアツタノデアリマス、然ルニ今ノ大臣ノ御説明ニ依ツテ、最早サウ云フ建前ハ執ラナイト云フコトニナリマスルト、大體其ノ建前ノ下ニ於テハ、物價ト云フモノハ商品ト商品トノ交換ノ比率ガ價格トナツテ現ハレルノデアツテ、此處ニ何カ價值ノ基準トナル所ノ一ツノモノガアツテ、此ノ尺度ト他ノモノトノ比率ヲ現ハスノガ價格デハナシニ、何デモ宜イ、商品ハ何デモ宜イ、ソレノ交換サルベキ所ノ商品トノ其ノ交換ノ比率ガ價格トナツテ現ハレルノダ、當然斯ウ云フ物價ノ建前ニナツテ來ルト思フノデアリマスガ、ソレハ如何デアリマスカ

○賀屋國務大臣 詰リ各種ノ物資ノ交換ノ相互價值ガ私ハ貨幣ノ價值ダト思ツテ居リマスカラ、今御述べニナリマシタコトハ、大體ソレデ宜シイト申上ゲテ宜イト思ツテ居リマス

○西川委員 ソコデ次ニ御尋ネシタイコトハ、私ハ實際政治ノ上ニ於キマシテ、其ノ觀念ノ下ニ於テハ、物價政策ノ上ニ觀念的ニハ相當ノ變化ガ來ルノデハナイカト思フノデアリマス、大體現在ノ物價政策ハ、私ハ是モ現在ノ大臣ガ近衛內閣ノ下ニ大藏大臣ニ就任サレマシタ時ニ、日本ノ價格政策ノ上ニ一ツノ大キナ劃期的ナ變化ガアツタト思ヒマス、即チ其ノ際ニハ大體對英「シリリング」ニ「ペンズ」ナル所ノ爲替ノ水準ヲ一ツノ基礎ト致シマシテ、其ノ對英「シリリング」ニ「ペンズ」ノ基準ニ日本ノ通貨ノ價值ヲ安定サセルト云フコトヲ目標ニ一ツノ政策ヲ立テラレテ、爾來現實的ニハ物價政策ハ色ト紆餘曲折ヲ辿ツテ參リマシタケレドモ、其ノ基本ニ於テハ當時ノ對英「シリリング」ニ「ペンズ」ノ爲替水準ヲ維持スルト云フ考ヘハ強ク働イテ來タト思フノデアリマス、然ルニ大東亞戰爭勃發以來、最早對英ノ爲替水準トカ、或ハ對米ノ爲替水準ト云フヤウナコトハ全然無意味トナツタノデアリ、爲替相場ハ帝國ノ政府ニ於テ、獨自ノ立場ニ於テ之ヲ裁定サレルト云フ方針ニナツテ居リマス、更ニ貨幣ノ制度カラ申シマシテモ、從來ハ通貨ノ價值ノ基準ガ金ニ依存シテ居リマシタモノガ、ソレカラ離レテ、只今申シマスヤウニ物資ノ相互ノ交換比率ガ一ツノ價格トナツテ現ハレル、斯ウ云フコトニナリマス、茲ニ觀念ノ上ニ於キマシテハ、物價政策ノ考ヘ方ニ大キナ變化ヲ當然來スト思フノデアリマス、私ハ物價ヲ上ゲ下ゲ致シマスコトハ、是ハ容易ナラザル影響ヲ各方面ニ與ヘルト思フノデゴザイマシテ、現實的ニ物價ノ數字ガドウ云フ風

ニ變ツテ來ナクチャナラスト云フコトヲ申上ゲルノデハゴザイマセスガ、根本ノ考ヘニ於テハ目標ガ變ツテ來タノデハナイカ、増税ノ委員會デモ物價政策ニ付テノ大臣ノ御考ヘハ述ベラレタヤウニ、新聞等デ傳ヘテ居ルノデゴザイマスガ、私ハ此ノ法律ニ基キマシテ、茲ニ制度ノ上ニ於キマシテ日本ノ通貨ガ劃期的ナ大變化ヲ致シマスノニ相即應シテ、物價政策ト云フモノハ考ヘ方トシテ相當ノ變化ヲ致シテ行クト云フコトハ當然ト考ヘマスノデ、之ニ付テノ大臣ノ御考ヘヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

○賀屋國務大臣 支那事變ノ始マリマス前ニ、私ハ對英「シリ」ニ「ペンズ」ト云フモノヲ爲替相場ノ基準ニ國策的ニ決定致シマシタ、私ガ決定致シマシタト云フコトハ不穩當デゴザイマスガ、事實上決定致シタ譯デアリマス、ソレハ物價ノ基準ト申シマスルヨリモ、日本ノ經濟ノ維持ト云フコトヲ主眼ニ致シマシタ、アレヲ崩シテ行キマスルコトハ、日本經濟ノ力ノ増強發展トコロカ、大混亂ヲ招イテ、其ノ結果衰退スル、アレヲ維持スルノガ必要ナリト云フ觀點ヨリ致シマシタ、寧ロ物價ハ逆ニソレカラ延イテ決マルト云フ譯デス、ソレデ尙ホ其ノ後私ハ民間ニ居リマシタ時ニ、物價對策委員トシマシテ私共決メマシタ、是ハ寧ロ政府ノ委囑ニ應ジテ決メタヤウナモノデアリマス、其ノ時ハ非常ニ重要性ノアル物が多量ニ英米トノ取引ニ依存シテ居リマシタ、隨テ物價水準ト云フモノハ必ズ外國トノ交換ノ比率ヲ考ヘテ、爲替相場ヲ考ヘテ決メナケレバナラスト云フ說ヲ持ツテ居リマシタ、當時ノ政府モソレヲ採用シテ居リマシタ、事實上其ノ考ヘハ英米トノ經濟ガ斷絕シマ

ニ變ツテ來ナクチャナラスト云フコトヲ申上ゲルノデハゴザイマセスガ、根本ノ考ヘニ於テハ目標ガ變ツテ來タノデハナイカ、増税ノ委員會デモ物價政策ニ付テノ大臣ノ御考ヘハ述ベラレタヤウニ、新聞等デ傳ヘテ居ルノデゴザイマスガ、私ハ此ノ法律ニ基キマシテ、茲ニ制度ノ上ニ於キマシテ日本ノ通貨ガ劃期的ナ大變化ヲ致シマスノニ相即應シテ、物價政策ト云フモノハ考ヘ方トシテ相當ノ變化ヲ致シテ行クト云フコトハ當然ト考ヘマスノデ、之ニ付テノ大臣ノ御考ヘヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス

スマデハ續イテ居ツタト思ヒマス、併シソレデ利害ヲ決メルト云フコトヨリモ、其ノ關係ガ破レヌ程度ニ「アジャスト」シテ行カナケレバナラヌト云フ、非常ニ「フレキシブル」ナ考ヘ方デズツト政府モ居ラレタヤウデアリマス、私等ノ意圖モソレデアツタノデアリマス、ソレデ通貨ノ方ノ所謂形式的價值ガ變ルカラト云フノデ、物價ノ方ハ餘リ動イテ來ナイト思ヒマス、例ヘバ、私共ノ説デハ、假ニ金本位ニシマシテ日本ノ通貨ノ價值ヲ切下ゲテモ、事變以來採ツテ來タ經濟方策ノ下ニ於テハ動カヌト云フ觀念ヲ持ツテ居リマス、其ノ事實上ノ例證ト致シマシテ、昭和十二年ニ金準備ノ再評價ノ法律ノ御協議ヲ經マシテ、アレハ一躍二倍以上ニシタカト思ヒマス、併シソレニ依ツテ何等物價ハ動カヌ、又私共モ動カヌト見、結果モサウデアリマス、今回ノ日本銀行法ノ改正ニ依ツテモ、私ハ物價ハ何等影響ハナイト思フノデアリマス、要スルニ通貨ト物資

財貨總體ノ關係デ動イテ參リマスカラ、形式的ノ改正ハ殆ド關係ハナイ、今回ノ改正モ、其ノ點ニ付キマシテハ、唯事實ヲ確認シタニ止マルノデゴザイマスカラ、何等此ノ點物價政策ニハ關係ハアリマセヌ、ソレヨリモ英米ト事實上經濟ヲ斷交致シマシテ、其ノ結果所謂國際の水準ト云フモノヲ、物價ノ水準ノ上ニ大キク考ヘル必要ガナクナツタノデアリマス、私ハ現狀ニ於テハ今ノ物價水準ヲ維持スル、斯ウ云フ考ヘ方ヲ持ツテ居リマス、一々ノ價格ニ付キマシテハ相當是正スルモノモアリマセウガ、此ノ水準ハ現在ノ所維持スルガ宜シイ、所謂物價ハ私ノ考ヘデハ安定ガ第一デアリマシテ、高イカ低イカト云フコトハ、他トノ影響デ

「アジャスト」ヲ要スルモノ以外ニハ安定スレバ宜シイト云フ私ノ考ヘデアリマス、ソレガ大體政府ノ考ヘデアルト申シテモ差支ヘアリマセヌ、此ノ間モ稅制委員會デ申シマシタガ、大體現狀ヲ基準トシテ安定スルト云フ方針ハ政府全體ノ方針デアルト申シテ差支ヘナイト思ツテ居リマス

○西川委員 大體物價ニ對スル影響ノコトニ付テ御説明ニナツタノデアリマスガ、現在ノ物價ト云フモノハ法律デ拘束サレテ居ル物價デゴザイマスカラ、政府ニ於テ物價ヲ變化セシメヨウト云フ意思ガアレバ、何等ノ事象ガ他ニナクテモ變化出來ル、又ドウ云フ事象ガ起リマセウトモ、政府ガ一ツノ物價ヲ維持スルト云フ鞏固ナ意思ヲ持ツテ居リマスル限り、法律ニ根據ヲ持ツ所ノ政府ノ手段ニ依ツテ決メラレテ、其ノ手段ニ依ラザレバ動カナイ物價デアリマスカラ、ソレハ影響ガナイノガ當然デアリマス、唯從來ノ米英トノ經濟ヲ斷交致シマスル前ニ於テハ、大體爲替相場ヲ維持スル、對英「シル」二「ペンス」ノ水準ヲ大體維持スルノニ差支ノナイ程度ニ國內ノ物價水準ヲ維持シナケレバナラヌト云フコトガ、非常ニ強イ政府ノ考ヘ方デアツテ、是ガ爲ニ生産力ノ擴充ヲ遂行スル爲ニモツト物價ヲ裕リノアル物價ニシタイ、斯ウ云フ風ヲ要求ガアリマシテモ、併シ通貨ノ價值ヲ維持スルコトガ極メテ重大デアルカラ、餘リサウ云フ考ヘ方モ取入レルコトガ出來ナイト云フ風ニ、可ナリ窮屈デアツタノデヤナイカト思フノデアリマス、而モ今米英トノ關係ハ全然斷絶サレマシテ、同時ニ通貨ノ根本的ナ制度其ノモノニ於テモ、他ノ何物カラ標準トシテ茲ニ物價ヲ釘付ケニシナクチャナラヌト云フ必

要ハナクナツテ、物ノ需給關係ニ即應シタ物價ノ動キ、例ヘバ人間ノ健康狀態ニ依ツテ體溫ガ或ハ上昇シ、或ハ下降スル、體溫ノ上下其ノモノガ人間ノ健康ヲ調整致シマスルヤウニ、サウ云フ意味合ニ於テ物價ハ今少シ寬イダ氣分デ、物價自體ヲ持ツ經濟界ノ調節作用ヲ働カシテモ宜イノデヤナイカ、考ヘ方トシテハサウ云フ風ニ考ヘラレルノデヤナイカ、大藏大臣ハ物價ハ安定ガ望マシイト言ハレルノデアリマス、勿論是ハ一般誰デモ物價ガ安定スルコトハ望マシイノデアリマス、併シナガラ物價ヲ形成致シマスル要素トシテハ、一面ニ於テハ財貨ノ數量ト云フモノガ物價ヲ安定セシメマスル一ツノ要素トシテ強ク働クト思ヒマス、他面ニハ通貨ノ數量ト云フモノガヤハリ強ク働クト思フノデアリマス、然ルニ現在ノ物價ヲ見マスト、事變前ニ比ベマシテ通貨ガ著シク膨脹シテ來タト云フコトハ、是ハ統計ノ示ス所デアリマシテ、疑フ餘地ハナイ、通貨ガ膨脹致シマスルニ伴ツテ財貨ハ當然増加シテ居リマス、財貨ノ増加ガアツタレバコソ、統制サレタ物價ノ上ニ於テモ尙ホ通貨ノ膨脹ガアリ得タノデアリマルスカラ、財貨ハ増加シテ居ル、併シナガラソレハ財貨全般ニ付テ見レバ増加シテ居ルノデゴザイマスルガ、國民ノ消費ニ充テラレマスル所ノ財貨ハ、事變前ニ比較致シマシテ或ル物ハ増加シテ居リマセウガ、又減少シタ物モナイデハナイ、總體的ニ言ヘバサウ大シテ増加シテ居ナイノデアリマス、ソコデ國民ノ消費ニ充テヨウトスレバ直チニ充テラレマス所ノ通貨ノ數量ト、國民ノ消費ニ充テラレマス財貨ノ數量トノ間ニハ、可ナリ大キナ跛行關係ガ生ジテ居ルノデハナイカ、此ノ

跛行關係ガ生ジテ居レバコソ、ソコニ所謂浮動購買力ナルモノモ生ズルコトニナリ、浮動購買力ナルモノノ吸收ガ極メテ重大デアルト云フコトニモナルノデアリマス、之ヲ他面物價政策ノ上カラ考ヘテ見マスト、例ヘバ重要ナル物資ニ對シマシテハ其ノ物ノ價格ガモウ生産費ヲ償ハナイ、之ヲ放任シテ置イタナラバ當然生産費ヲ償ハナイカラ減産ニナル虞ノアルモノニ對シテハ、政府ガ之ニ補助金ヲ出サレ、補償金ヲ出サレマスル等ノ方法ニ依ツテ、尙ホ從來ノ價格ヲ其ノ儘維持シヨウト御努力ニモナツテ居ルノデゴザイマス、サウ云フ點ニ付テモ既ニ根本的ニ再檢討サレテ、サウシテ適正ナル一ツノ價格ヲ決メテ行クト云フ風ニ、此ノ通貨ノ制度ガ根本的ニ改正サレマス同時ニ、物價政策其ノモノニ付テモ根本的ナ檢討ヲシテ、サウシテ現實ノ經濟事情ニ即應スルヤウナ適正ナル價格ヲ決メテ行クト云フ風ニ、物價政策ヲ指導シテ行ク必要ガアルノデヤナイカト考ヘノルデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ大臣ノ御考ヘヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 只今御述ベニナリマシタコトハ、少シ私共ノ考ヘト違ツテ居ルノデアリマス、一「シル」二「ペンス」ノ水準ヲ維持スル爲ニ物價ヲ抑ヘタト云フコトハ餘リナイノデアリマス、大體私共ノ物價政策ノ物價ヲ上ゲルコトト生産ノ關係ハ、從來ノ國際經濟ガ自由デアリ、國內經濟ガ自由デアリ、物價ヲ上ゲ價格ヲ上ゲレバ其處ニ勞力、資材ガ集マツテ來テ生産ガ殖ニルト云フコトガ行ハレル時代デアルト云フノガ根本ノ考ヘ方デアツタ、石炭ガ思フヤウニナイ、何モ足ラヌト云フ時ニ、價格ヲ上ゲレバ或ルモノハ其處ニ集マツテ來マセウガ、

他ノ必要ナ方面ニハ不足ヲ生ズル、是ハ物
資、勞力ガ餘リガアツテ、外國カラ自由ニ
輸入ガ出來ル時ニハ高物價政策ト云フモノ
ガ生産ヲ増スノデアリマスガ、サウ云フ作
用モ全然止マツテ居ツテ、ヤレバ害ノアル
コトデ、段々相場ガ高クナリ、物價ガ上ツ
テ、生産費ガ上ガツテ算盤ガ採レナクナツ
テハ、是ハ生産サセルト云フコトハ無理デ
アリマス、其ノ點ノ「アジャストメント」ト
云フコトハ必要デアル、是ハ一貫シタ考ヘ
デアリマス、全體ノ物價ヲ上ゲマスノハ、
戰時ニハ物價ガ暴騰シ、ソレガ因トナリ果
トナツテ惡性「インフレーション」ヲ起スト
云フ狀況ハ起リ易イデアリマス、今デモ
安定シタヤウニ見エマスガ、私ハ其ノ危險
ト云フモノハ不斷ニ働イテ居ルト思フ、之
ヲ抑ヘルノニハ非常ニ大キナ力デ物價ノ安
定方策ヲヤツテ行カネレバナラス、少々
個別的ニハ無理ガアツテモ大キナ方策ヲヤ
ツテ行カネレバナラス、斯ウ云フ考ヘ方
デ居リマス、歷代ノ政府モソレデアリマス、
是ハ戰時ノ惡性「インフレーション」ヲ防グ
ト云フ爲ノ一ツノ大キナ考ヘ方デアリマス、
法令デ決マルト申シマスガ、私共ハサウ思
ツテ居ナイデアリマス、法令ト云フモノ
ハ大體行ハレ得ルヤウナ環境ヲ與ヘテ、例
外的ノモノヲ抑ヘルト云フコトガ理想デア
リマシテ、又甚ダシク例外ガ非常ニ多クナ
ルヤウデハ實際行ハレナイデアリマス、
ソコデ貿易ノ上ニ於テモ計畫的ニ行キ、生
産及ビ消費ノ上ニ於テモ計畫的ニ行キ、人
爲的ニ委カシテ置キマスソコニ需給ノ調
節ガ出來ナイカラ、極端ニ人爲的ノ調節ヲ
行ハナケレバナラス、切符制度モ消費規正
モソレナノデアリマス、是等ノ方策ニ依ツ

テ人爲的ニモ需給ヲ合セテ、一方公定物價
ガ行ハレ易イヤウニスル、需給ガ非常
ナル煩雜ノ時ニ於キマシテハ價格ノ公
定ハ到底行ハレナイ、斯ウ云フ考ヘ方ヲ持
ツテ居リマスカラ、大體人爲的ニ少ク
モ需給ノ上ノ實勢ヲ其處ヘ持ツテ行ク
ト云フ考ヘ方ヲ致シテ居ル譯デアリマス、
ソコデ今回日本銀行法ヲ改正シマシテモ、
是デ物價政策ニ何等變改ヲ及ボスト云
フ考ヘハ毛頭アリマセヌ、益々從來ノ方向
ノ物價政策ト云フモノヲ強メテ行ク、價格
ヲ上ゲルコトニ依ツテ生産ニ刺戟ヲ與ヘル
ト云フ考ヘ方ハ執ラナイ、モウ自由ニ勞
力、原料等ヲ移動シ得ナイ時代デアリマス、
或ハ南方ナドニ於キマシテ、十分ニ統制的
ニ行カズ、資材モ何モ餘ツテ居ルト云フ時
ニハ、部分的ニサウ云フコトガ或ハ適用シ
テ宜イ場合モ起ルカモ知レマセヌガ、國內
的ニハサウ云フ方策ヲ執ル考ヘハアリマセ
ヌ、ソレカラ今申上ゲタヤウナ大キク水準
ヲ維持シタイト云フ餘リニ、重要ナ物資ニ
付キマシテハ補助金政策マデ執ツテ安定シ
テ居リマス、ソレガ動クト云フコトガ端緒
ニナツテ全體ニ非常ナ狂ヒヲ生ズル、斯ウ
云フコトニナツテハ大變ダト云フ考ヘ方ガ
今ノ補助金政策ノ主ナル理由デアリマス、
補助金政策ニモ隨分惡イ場面モアルと思ヒ
マスガ、良イ方ト惡イ方ト比較シテ、今
執ラザルヲ得スト云フコトデヤツテ居ル譯
デアリマス、戰時ノ經濟ノ維持ト云フコト
カラ見マシテ、物價水準ト云フコトハ極メ
テ大事デアル、ドウシテモ是ハ大ナル急激
ナル變動ガナイヤウニ維持シテ参リタイ、
斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

私共モ一ツノ意見ハ持ツテ居リマスケレド
モ、意見ニ互ルコトハ申上ゲマセヌデ、唯
當局ノ御方針ガ明カニナレバソレデ満足致
ス次第デアリマス
次ニ御尋ネシタイコトハ、昨年ノ七月十
一日ノ閣議ニ於テ財政金融基本方策要綱ナ
ルモノヲ御決定ニナツタノデアリマス、サ
ウシテ其ノ要綱ノ眼目ハ、國家ノ資金動員
ニ對スル所ノ計畫ヲ樹立致シマシテ、此ノ
計畫ヲ中心ニ總テノ資金ノ動員ヲ考ヘテ行
カレルト云フコトガ、此ノ要綱ノ根本ニナ
ツテ居ルヤウニ思フノデアリマス、其ノ中
ニ國家資金動員計畫ハ毎年度之ヲ定ム、尙
將來數箇年度ニ互リテモ之ヲ概定スルモノ
トスト定メラレテ居ルデアリマス、此ノ
要綱ニ付キマシテハ前大臣ノ時ニ決メラレ
タコトハ存ジマスガ、賀屋大藏大臣ニ於
カレマシテモ、勿論此ノ基本方針ニ基イテ
財政ノ御運用ニナツテ居ルコト思フノデ
アリマス、本年度ニ於キマスル所ノ國家資
金動員計畫ナルモノハ決定サレテ居ルノデ
アルカ、尙ホ將來數箇年度ニ於テノ概定ガ
出來テ居ルノデアアルカ、若シ出來ルナラバ
其ノ計畫ヲ御示シテ願ヒタイト思フノデア
リマス

○賀屋國務大臣 大體ハアノ方針ハ宜イト
思ヒマシテ私共モ踏襲シテ行ク積リデアリ
マス、併シアレガ言葉通りニ、直グアア云
フモノガ私ハ即座ニ出來ヨウトハ思ヒマセ
ヌ、又當時ノ當局者ニ聽キマシテモ、來年
カラ直グアノ通り實行スルノダトハ言ツテ
居リマセヌノデス、ドウシテモ大勢ハアア
云フ風ニ行キマス、又實際ソレニ大體似
タコトヲヤツテ居リマシテ、政府資金幾
ラ——是ハ租稅ト國債デアリマス、生産擴充
資金幾ラト云フモノヲ從來ノ實績カラ、其
ノ上ニ力ノ伸ビル程度ヲ——是ハ主ニ生産
力デアリマスガ、考ヘマシテ毎年立テ行
ツテ居リマス、是ハ大體昭和十三年カラヤ
ツテ居ルコトナノデアリマシテ、昨年アレ
ガ出來マシタノハ、寧ろ是モ唯言葉ヲ明カ
ニシタダケノヤウニ私ハ思ツテ居リマス、
尙ホ將來數年ニ互ツテ居ルカト云フ仰セデ
アリマスガ、是ハ昨年ノ十二月八日カラ是
コソ大變革ヲ致シマシタ、南方ノ物資ト云
フコトハ今マデノ觀點デハ全然計畫内ニソ
レ以前ニハ入レル譯ニハ行カナカツタモノガ、
大東亞戰爭ノ勃發ニ依ツテ非常ニ變リマシ
タ、是ハ今ノ所ハソレマデ入レタモノガド
ウナリマスカタ云フ計畫ハマダ立チニクイ
ノデアリマス、明年ダケノコトハ大體ハ行
キマスガ、マダ生産擴充計畫ト云フモノガハ
ツキリ決ツテ居リマセヌカラ申上ゲ兼ネマ
スガ、是ハ實ハ御答辯トシテ申上ゲルノニ
ハ不正確過ギル位デアリマスガ、他ノ機會
ニ於テモ一寸質問應答ノ關係カラ申シマシ
テ、大體私ハ來年ハ四百五十億位ノ資金ノ
中、政府資金ト生産擴充トデ三百億位ノモ
ノデアアル、其ノ中政府資金ガ今決ツテ居
リマスノガ、國債ノ百六十億ト租稅ト合セマ
シテ二百三十億位ノ見當ダラウト思ヒマス、
ソレニ生産擴充ガ幾ラニナリマスガ、六十
億ト去年通リト致シマシテモ二百九十億位、
斯ウ云フ概略ノ見當デアラウト思ヒマス
○西川委員 私ハ此ノ問題ニ付テ吟味ヲ
要スルト思ヒマスコトハ、資金ノ本質ニ對
スル認識ガ若シ徹底シテ居ナカツタナラ
バ、資金計畫ナルモノハ立チヤウガナイト
同時ニ、不徹底ナ認識ノ下ニ資金計畫ヲ立
テヨウト致シマス、國家ノ上ニ非常ナ禍

ヒヲ生ジテ來ルト思フノデアリマス、詰リ只今モ大臣ガ仰セラレマシタヤウニ、若シ過去ノ數字ニ依ツテ、或ハ過去ノ數字若クハ其ノ數字ニ現ハレタ趨勢ニ依ツテ將來ノ資金計畫ヲ立テヨウト云フノデアツタナラバ、昭和十六年度ノ基礎的ノ數字ヲ以テ十七年度ノ資金計畫ノ立チヤウガナ、此ノ間非常ナ飛躍ガアルノデアリマスカラ、前年ノ實績ヲ以テ、又前年ノ數字ニ基ク趨勢ヲ以テ十七年度ノ資金計畫ガ立チヤウガナ、同ジヤウナ間違ガ過去ニ於テモ繰返サレテ居ル、例ヘバ滿洲事變ノ勃發致シマシテヨリ今日マデ、日本ノ政治ノ摩擦ノ根本ニハ何ガアツタカ、ツコニ財政經濟方面ニ於テハドウ云フ摩擦ガアツタカト云フコトハ、古クカラ大藏省ニ居ラレ、特ニ昭和十一年、十二年ノ頃主計局長或ハ次官トシテ御在任ニナツテ其ノ局ニ當ラレマシタ大臣ハ、痛切ニ感ゼラレテ居ルコトト思フノデアリマス、ソレカラ又此ノ基本方策要綱ヲ大體御承認ニナリマス御心持ニ於テハ、資金計畫ナルモノガ如何ニ綜合的ナ計畫經濟ノ上ニ於テ重大ナル役目ヲ持ツテ居ルカト云フコトモ御分リニナルト思フノデゴザイマス、其ノ點ニ付テ前年ノ實績ニ依ツテ其ノ後年ノ資金計畫ヲ立テタリ、財政計畫ヲ立テタリ致シマスコトガ、或ル場合ニ於テハ非常ニ危險ヲ生ズル、特ニ戰時ニ於テハサウ云フコトハ適當デナイ、然ルニ此ノ要綱ハ、戰時諸國策遂行ノ經濟的基礎ヲ強化確立スルコト云フコトガ前提ニアルノデゴザイマシテ、戰時ヲ豫想シテ居ル、是ハ戰時ニ於ケル方策ヲ示シテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ場合ニ於テ一體國債ト云フモノヲ一國資金ノ上ニ於テ、資金需要ノ因子トシテ之

ヲ見テ居ラレルノデアルカ、或ハ供給ノ因子トシテ見テ居ラレルノデアルカ、一體資金ハ何ニ依ツテ供給サレルモノト見テ居ラレルノデアルカ、特ニ國債ノ資金ノ上ニ於ケル所ノ性質ヲ御尋ネ致シタイ

○賀屋國務大臣 是ハ私議會デモ度々申上ゲテ居ルノデアリマスガ、大體今ノ御話ノ通りデアリマス、私自身ノコトヲ申上ゲテハ恐入リマスガ、實ハ私ガ近頃ノ資金計畫ノ元祖ダト思ヒマス、昭和十三年ニ如何ナル資金計畫ヲスルカト云フ時ニ、初メテ國民貯蓄八十億ト云フコトヲ提唱シテ、八十億ノ計算ハ私自身デヤツタノデアリマスガ、昭和十一年ニハ二十八億位シカナカツタ、ソレヲ一躍八十億ト云フ算盤ハ立テニクイノデアリマス、丁度御話ノヤウニ、國債ハ資金ノ需要デアツテ同時ニ供給デアルト考ヘテ、國債ノ發行額、從來ノ資金ノ蓄積等ヲ見テ、大體是レ位ハ行キ得ルシ、行カケレバ經濟ハイカスト云フ目標ヲ立テマシタノハ十三年ノ四月デアリマス、大體見込通りニ參リマシテ、其ノ後歷代ノ政府モソレニ對シテ今年ハ公債ノ發行ハドノ位アル、サウ云フコトカラ國民貯蓄ノ目標ヲドノ位増シタラ宜カラウト云フノデ、順次其ノ後ヤツテ來ラレテ大體其ノ通り參ツテ居リマス、御話ノ通りニ從來ノ實績モ無論有力ナ參考ト致シマスガ、其ノ上ニドウ新タニ加ヘテ行クベキモノカト云フコトヲ考ヘテ參ルノデアリマス、御話ノ通りニ國債ハ資金ノ供給源泉デアリマス、供給源泉ナルガ故ニ又之ヲ回收致シマセスト先程、生産擴充物資トカ軍需物資ハ大ニ増産サレタガ、國民消費物資ハ殖エテ居ルモノモアルガ、減ツテ居ルモノモアル、ソ

コデ食違ヒガ起ルデヤナイカト言ハレマシタガ、詰リソレナノデアリマス、國民所得ハ非常ニ増シテ居リマスノデ、自分ノ生活ノ爲ニ使ヒ得ルモノヲ限定致シマセスト、ソコニ非常ニ大キナ食違ヒガ生ジマス、ソコデソレヲ一面吸收スルコトガ必ズ必要デアリ、又吸收サレルコトニ依ツテ必要ナル資金ノ需要ヲ滿シ得ル、デスカラ需要面ト供給面ト兩方考ヘテ參ル、御話ノ通りニ前カラサウ云フ考ヘ方ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○西川委員 國債ガ資金ノ供給ノ源泉デアルトハ當リ前ノコトデアルト共ニ、財政ノ前途ニ對スル國民ノ不安ヲ一掃スル上ニ於テハ非常ニ力説シナクテハナラス點ダト思フノデアリマス、國債ハ資金供給ノ源泉デアリマスガ故ニ、政府ガ百億ノ國債ヲ御出シナルナラバ、百億ノ國債ヲ消化スベキ所ノ消化力ヲ國債自身ガ持つテ居ル、謂ハバ私共ハ國債ハ今日我が國ニ於ケルガ如キ通貨制度ノ下ニ於テハ自動的ノ消化力ヲ持つテ居ルト思フ、例ヘバ時期的、場所的ニハ色々食違ヒガアリマセウケレドモ、結局ハ消化スベキ所ノ力ヲ内在シテ居ル、其ノ點ハ大臣モ左様ニ御認識ニナツテ居ルヤウデゴザイマス、又ソレデアルカラコソ、彼ノ支那事變勃發以來ノ今日ノ龐大ナル財政ヲ何ノ苦モナク賄ツテ來タ理由ガソコニアルト思フ、次ニ尙ホ重要ナル點デアリマスガ、半面ニ於テハ國債ハ資金ノ需要デアール、併シ半面ニ於テ國債ガ資金ノ需要デアルト云フ言葉ハ、言葉ノ嚴密ナ意味ニ於テハ當ラナイノデアリマス、是ハ單ニ認識ノ問題デアルノミナラズ、ソレハ實際ノ政策ノ上ニ大キナ影響ヲ持つト思フノデアリ

マスガ、資金ノ需要トシテ、政府ハ單ニ社債ナリ其ノ他ノ産業資金ノ需要ト、國債ノ消化ニ振向ケラレル需要ハ、政策的ニハドチラヲ優先サルベキモノト御考ヘニナリマスカ、他ノ産業資金ノ需要ト國債消化ノ需要トハ、性質ガ同ジモノト御考ヘニナツテ居ルカ、又ソコニハ質的ニ違フモノガアルト云フコトヲ御考ヘニナツテ居リマセウカ、其ノ點モ一ツ明カニシテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 大キナ意味デ本質ハ同ジデアリマス、私ハ常ニサウ申シテ居リマス、戰時ニ必要ナル資金ハ必ズ出來ナケレバナラス、ソレハ國債デアレ、社債デアレ、株式ノ拂込デアレ、其ノ生産事業ガ國家ノ爲ニ必要ナルモノハ必ズ出來ナケレバナラスト云フ意味ニ於テ、ドレヲ優先スルト云フヨリハ、全體ガ出來ナケレバナリマセヌ、戰費ガ出來テモ、生産擴充ガ出來ナケレバ次ノ力ガ弱ルノデアリマス、ソコデ常ニ同等デアリ、必要ナルモノハ皆消化シナケレバナラス、所ガソレガ大事ナコトハ、國債ヲドン出シマシテ、供給源泉ニナルガ、ソレガ還ツテ來ナイト、先程御話ノヤウニ、吾々ノ日常生活消費部面ヘ參リマス、之ヲ行カナイヤウニ一生命ニ回收シタイ、國民貯蓄獎勵運動ハ正シクソレヲ主眼點トシテヤツテ居ルノデアリマス、其ノ意味ニ於テ私ハ全く同列ニ解シマス、ソレカラ經濟上ノ性質カラ申シマシテモ、國債ガ資金ノ供給源泉デアアルカラト申シテ、幾ラデモ出セルカト云フト、出セスト思ヒマス、國債ハ戰費ノ供給源泉デアリ、戰費ハ何ニ使フカ、或ル物資努力ヲ需要スル爲ニ使フノデアリマス、其ノ國債ヲ本ニシテ努力物資ヲ需要スルノデ、其ノ對象タルモノガ不足スルナ

ラバ空廻リシテ、次ニ惡性「インフレ」ニナ
リマス、ソコデ國家ノ歲出其ノ他ノ限度ハ
物資資金ノ限度デアルト考ヘテ居リマス、
貨幣價值ヲ綜合經濟力デアルト言フノモ、
ヤハリ其ノ方カラ觀念ガ出テ居ルノデアリ
マス、私ハ無制限トハ申シマセス、必ズ限
度ガアル、ソレハ要スルニ一國ノ利用シ得
ベキ物資勞力ガ限度ヲ成スノデアリマス、
ソレハ生産擴充デモ同ジデアリマス、生産
資材ガナケレバ用ヲナシマセス、軍需資材
ガナケレバ戰費ノ用ヲナシマセス、サウ云
フ大キナ意味ノ經濟的性質、國家ニ於ケル
重要性ト云フ意味デ同ジヤウニ考ヘテ參ッ
テ居ルノデアリマス

○西川委員 國債ノ資金需要ノ方面ニ於ケ
ル性質ニ付テハ、他ノ産業資金ノ需要トハ
本質ガ違ツテ居ル、是ハ一ツノ凝結トモ
言フベキ狀態デアルト思フ、殊ニ社債其ノ
他ノ産業資金ハ資金トシテ需要サレテ居
マシテモ、其ノ資金ハヤハリ經濟界ニ流レ
テ居ル、動イテ居ル、併シナガラ一タビ公
債ノ消化ニ需要サレマシタ時ニハ、ソレハ
凝結シテ最早動カナイ、丁度雪ガ融ケテ水
ニナツテ、其ノ水ガ氷ニナルヤウニ、國債
ノ消化ニ充テラレル時ニハ凝結スルノデア
リマス、其ノ物ノ形ヲ以テ働カナイ、他ノ
債券ナリ産業資金ニ供給サレル場合ニハ、
ヤハリ動イテ居ル、水ノ狀態デアルカラ働
イテ居リマス、其ノ意味ニ於テ本質ニ違ヒ
ガアルノデアリマス、ソコデ凝結スル時
ハ、凝結ノ必要ガ生ジタ時ニ當然スルノデ
アツテ、産業資金ノ必要ガアレバ、産業資
金ノ方ヘ優先的ニ廻シニナツテ宜イデハ
ナイカ、産業資金ヲ優先的ニ廻サレマシテ
モ、ソレハ流レテ居ルカラ、其ノ次ノ段階

ニ於テ國債ニ凝結シテ來ルト思フノデアリ
マス、是ハ金融政策ノ上ニ於テ重大ナ點ニ
ナツテ來ルト思フノデゴザイマスガ、其ノ
意味ニ於テ私ハ此ノ法律案、日本銀行ガ自
ラ社債ノ買入ヲスル、自ラ産業資金ノ放出
ヲスルト云フコトハ、發券銀行ノ純粹性ヲ
保チマスル上ニ於テドウカト考ヘル、サウ
スル必要ハナイノデヤナイカ、今日ノ場合
ノヤウニ、是ハ將來ニ互ツテモサウデゴザ
イマスルガ、國家ノ必要トスル資金ハ國債
ヲ發行サレマシテ、其ノ國債ガ資金ノ供給
源泉トシテ多量ナ資金ガ市場ニ供給ヲサレ
マスナラバ、其ノ凝結ヲ急ギサヘシナケレ
バ、一國産業資金ノ供給ニ不自由ヲ感ズル
ト云フヤウナコトハアリ得ナイ、ドウシテ
モ資金ノ需要ハ國家ノ必要ガ先行シテ居ル
ノデゴザイマスカラ、國家ノ必要ヲ充足ス
ル爲ニ國債ハ發行サレテ居ル、其ノ國債ヲ
國債トシテ凝結スルコトヲ急ギサヘシナケ
レバ、産業資金ノ供給ニハ事缺カヌ管デア
ル、サウスレバ産業資金ノ供給ハ他ノ専門
的ナ金融機關ヲシテ之ヲ行ハシメテ、日本
銀行ハ發券銀行トシテノ純粹性ヲ何處マデ
モ保持シテ行ク方ガ、一國通貨制度ノ根本
ヲ堅實ナラシメル上ニ於テ必要デヤナイ
カ、特ニ重大ナル點ハ、我が國ノ憲法ハ專
苟モ財政ニ關シマスルコトニ於テ、新タニ
國民ニ負擔ヲ課スルコトカ、財政ノ國民ニ對
スル影響ノ變化致シマスル方面ニ於キマシ
テハ、極メテ嚴密ニ帝國議會ノ協賛ヲ得ル
コトヲ要件トシテ居ルノデアリマス、即チ
國債ノ發行ハ帝國議會ノ協賛ヲ要シマス、
サウシテ其ノ國債ノ發行其ノモノガ資金ヲ
作ルノデゴザイマシタナラバ、如何ニ澤山
ノ資金ヲ政府ガ創設致シマシテモ、ソレハ

帝國議會ノ協賛ヲ得タル國家ノ總意ノ下ニ
於ケル所ノ資金ノ創設トナルノデアリマス、
然ルニ日本銀行ガ自ラ債券ヲ引受ケルコト
ガ出來ル、帝國議會ノ協賛ヲ得ザル所ノモ
ノヲ以テ資金創設ノ根元ト致シマスル時ニ
ハ、嚴密ニ財政上ニ於テ帝國議會ノ協賛ヲ
要件ト致シマスル其ノ憲法ノ建前ニ對シマ
シテ、私ハ其ノ點甚ダ遺憾デアルト思フノ
デアリマス、實際問題ハ其ノ必要ハナイ、
國債ニ依ツテ資金ヲ創設シテ行ク、サウシ
テ其ノ資金ガ必要ノ間ハ産業界ヲ流レテ居
ル、産業界ノ必要ノナイ資金ハ自然ニ國債
消化ニ凝結シテ來ルノデアルカラ、其ノ自
然ノ流レヲ國策ノ方向ニ統制シテ行キマス
ルナラバ、日本銀行自體ハ債券ヲ引受ケタ
リ買入レタリスル必要ハナイノデヤナイカ
ト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ大
臣ノ御所見ハ如何デゴザイマスカ

○賀屋國務大臣 國債ノ今ノヤウナ發行方
法ハ、高橋大藏大臣ノ時カラ變ツテヤツテ
居リマスガ、今ヤツテ居ルコトハ本當デヤ
ナイノデアリマス、國債ハ生産擴充資金ト
同ジニ、民間ニ資金ガ溜ツテカラ、ソレヲ
民間カラ應募スルノガ建前デアリマス、所
ガ資金ガ急ニ増加スル時ニハソレデハ圓滑
ニ行カヌカラ、當時ノ高橋藏相ハ日銀ニ引
受ケサセタ、ソレヲ今ハ便宜ダカラヤツテ
居ルノデアリマス、生産擴充資金モ、社債
モ、國債モ同ジコトデアリマス、一ツモ違
ヒハナイノデアリマス、普通ナラバ「シンデ
ケート」團デモ拵ヘテ其處デ民間資金ヲ集メ
テ國債ヲ引受ケ、社債ヲ引受ケル、ソレガ
普通ノ行キ方デアリマス、今便宜デアアルカ
ラ國債ハアア云フ方式デヤツテ居ル、ヤツ
テ居ル以上ハ早クソレガ資金ヲ吸收シナケ

レバ、一年ニ或ハ百億トカ何トカ云フ澤山
ノ資金ガ出マス、是ハ大變ナ資金ノダブ
付キニナリマス、ソレヲ放ツテ置イタナラ
バ、産業資金ノミニ正確ニ向ケバ宜イノデゴ
ザイマスガ、皆消費ノ方ニドシノ行ク可能
性ガアル、ソコデ貯蓄獎勵ヲシ、或ハ直接
國債社債ニナル、更ニソレガ預金部銀行預
金ニ集ル、集ツテ産業資金ニナル、斯ウ云
フ形態ヲ取ツテ居ルノデ、本質ニ變リハナ
イ、唯先ニ金ヲ出シテ、サウシテ後カラ集メ
テ行クト云フヤリ方ヲ今都合ニ依ツテヤツ
テ居ルダケノコトデアリマス、ソレデ産業資金ヲ
日銀ガ出ス——憲法論ノ御話ハ一寸御質問
ノ趣旨ガ分リマセスガ、今申上ゲマスヤウ
ニ、國債モ社債モ大體日本銀行ノ發行券デ
ヤルベキ性質ノモノデナイ、必ズソレハ一
方ニ資材、物資ト云フモノノ見返リガナケ
レバ役ニ立タナイ、金ダケ出シテモソレデ
兵器彈藥ガ出來ナケレバ何ニモナラナイ、
生産擴充モ工場ガ出來ナケレバ何ニモナラ
ナイ、船ガ出來ナケレバ何ニモナラナイ、
ソレデ大體民間カラノ蓄積資金ハ一方ニ於
テ大イニ働キ、生産ヲシ、全部消費ニ充テ
ズシテ、餘剰ガ溜リマスカラ、見返リ物資
ガ經濟全體トシテアリマスカラ役ニ立ツ、
其ノ意味ニ於テハ毫モ變リハアリマセスガ、
併シ高橋藏相ガ、國債ニ民間カラノ資金ガ
集ツテカラ募集セズ、先ヅ日本銀行ニ引受
サシテ資金ヲ出スト云フコトハ、當時ノ一
般ノ金融梗塞狀態ニ於テ、之ヲ緩和スル便
法トシテ考ヘ出シタノデアリマス、所ガ今
デモサウデアリマス、軍資金ガ要ルト云フ
時ニ銀行ニ金ガ集ツテ居ラス時ハ國債ガ出
セス、サウスルト必要ナ金モ出セスト云フ
コトハ非常ニ不便デスカラ、國民貯蓄獎勵、

生産ノ増産、消費ノ節約ニ依ツテ物資ヲ産ミ出シナガラ、一方資金ヲ集メテ行ク、ソレガ當然後カラ集ツテ來ルヤウニ努力シテ居ルノダカラ、其ノ數箇月前ナリ數十日前ナリ金ガ要ル時ニ直グ出スト云フノデ、國債ヲ日本銀行ニ引受サシテ居ル、同ジヤウナコトガ産業資金デモゴザイマシテ「エ」ノ會社、「ビ」ノ會社ガ社債募集ヲシナケレバナラヌ、銀行カラ云フトドウモソレデハ多過ギルト云フ時ニ、ソレフ一々待ツト云フコトハ非常ニ窮屈ヲ感ジマスカラ、ソコデ日本銀行ニソレヲ持ツテ行ケバ金ニナリマスカラ、普通銀行ニハ澤山資金ガ集ツテ居ラスデモ出セル、斯ウ云フ作用ヲシヨウト云フノデアリマシテ、斯ウ云フ要望モ非常ニ多イノデアリマス、ソレニ依ツテ圓滑ニ入ツテ行ク、併シ今申シマシタヤウニ必ズソレハ國民ノ貯蓄ノ裏付ケデヤツテ行キタイト云フ方針ハ國債ニモ社債ニモ一貫シテ參ツテ居ル次第デアリマス

○板谷委員長 マダ結論ニハ行キマセヌカ

○西川委員 分リマシタ、ドウモ只今ノ御答辯ヲ伺ヒマス、私共ノ考ヘ方ト非常ニ違フノデアリマシテ、只今大臣ガ言ハレルヤウウナコトハ事實上行ハレルコトデナイ、昭和十二年ニ於テ發行シタ程ノ公債ヲ、自然ニ資金ガ溜ルナント云フコトハ昭和十二年ニ於テアリヤウガナイ、ソレハ本質ガ違フノデアリマスケレドモ、餘リ長イ時間ニ互ルト云フコトハ此ノ委員會ノ審議ニ支障ヲ生ジマスカラ是レ以上ハ此ノ際申上ゲマセヌ、併シ他ノ機會ニ於テ十分ニ是ハ檢討スベキ機會ガアルト思ヒマスシ、又必ズ其ノ機會ニ於テ徹底的ニ檢討シタイト思ヒマス、最後ニ事實ノ問題ニ付テ二點御

尋ネ致シマス、此ノ際政府ハ金利ノ問題ニ付テ再檢討ヲサレル考ハナイカ、金利ノ點ハ私ハ當然再檢討サルベキ時期ニナツテ來テ居ルト思フ、説明ヲスレバ長クナリマスカラ申シマセヌガ、唯金利ノ問題ニ付テ檢討スル考ヘハナイカ、ソレカラ此ノ法律案ヲ見マスルノニ、現在ノ日本銀行ノ株主ニ對スル所ノ保護ナリ又ハ將來ノ日本銀行ニ對スル保護ハ頗ル手厚イノデアリマス、大體大藏省ハ大藏省直轄ノモノニ對スル所ノ保護ニ付テハ餘程行届イテ居ルノデゴザイマスガ、他ノ省ノ管轄致シテ居リマス是ト類似ノ金庫ナリ、或ハ警團ナリ、國策會社等ノ待遇ガ、果シテ均衡ガ維持サレテ居ルカドウカト云フコトニ多大ノ疑問ガアル、例ヘバ新日本銀行ニ對スル免稅ノ點デアリマスガ、同ジヤウニ國家目的ノ遂行ヲ擔當致シマスル他ノ機關ニ對シテハ免稅ノナイモノガ多イノデアリマス、他ノ重要物資ノ増産ニ努力致シマスルモノ、或ハ國民生活上一日モ缺クコトノ出來ナイ食糧ノ配給ニ當リマス機關ニ對スル所ノ免稅點ノ點、サウ云フ點ニ不均衡ノ點ガアリハシナイカ、サウ云フ點ハドウ云フ風ニ御考慮ニナツテ居リマスルカ、此ノ二點ダケ御伺ヒ致シテ私ノ質問ハ終リマス

○賀屋國務大臣 私ハ金利水準ヲ動カス考ヘハ只今ノ所持ツテ居リマセヌ、部分的修正ハアルカモ知レマセヌ、ソレカラ大藏省所管ノ方ト他ノ方ヲ區別スルト云フ御話デアリマスガ、サウ云フ考ヘハ毛頭持ツテ居リマセヌ

○板谷委員長 栗山博君

○栗山委員 私ハ前回ニモ御當局ニ質問ノ機會ヲ與ヘラレ、又速記ヲ止メタ時ニモ質

問ヲ致シテ居リマスノデ、極メテ簡單ニ大藏大臣ノ御出席ノ機會ニ伺ツテ置キタイト存ジマス

〔委員長退席、田村委員長代理着席〕
先ツ其ノ一點ハ、改正日本銀行法ノ性格ハ何デアルカ、又公法人トシテ見ラレテ居ルノカ、或ハ私法人トシテ見ラレテ居ルノカ、其ノ點ヲ一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 私法人デアリマス

○栗山委員 私法人デアルト云フコトニハツキリ御答辯ニナツタコトハ、非常ニ私ノ觀念ヲ明確ニスルノデアリマスガ、事實此ノ改正銀行法案ノ機構、本質、運用等カラ考ヘマスルト、度々御當局カラソレニ付テノ御答辯ガアツタヤウニ、政府ガ全責任ニ於テ行ハルル形ニナツテ居ル、此ノ形ヲ取ラレルト云フコトニ付テハ、私ハ此ノ非常時内閣ナレバコソ、又非常時ノ前途ヲ達觀セラルレバコソ、大藏大臣ガ其ノ御經驗ト卓拔ナル抱負經綸ト、非常ナル御決心ニ依ツテ是ダケノコトヲサレタノダ、斯様ニ實ハ多大ノ信頼ヲ以テ、此ノ法ガ必ズ此ノ時局ヲ擔當シテ行ケルダケノ素質ヲ持ツテ居ルノダ、名實共ニ兼ネ備ヘタモノダト云フコトヲ信ジマシテ御尋ネヲ致スノデアリマスルガ、少クトモ政府ハ全責任ヲ以テキルト云フ形ニ現ハレテ居リマスル以上、私ハ商法ノ適用ニ依ル所謂私法人ノ人格ニ依リマスヨリモ、公法人ノ人格ニハツキリト其ノ性格ヲ法律上御決メニナツタ方ガ國ノ爲メダ、此ノ大キナ通貨ヲ賄ツテ行キ、大キナ共榮國內ノ地域ニ互ツテ強ク其ノ實力ヲ示現シテ行クノダ、效果ヲ擧ゲルノダト云フコトカラ行キマス、實ハ私ハ公法人ニナサレタ方ガ宜イノデハナイカ、甚ダ此ノ方

面ニ對スル知識ハ乏シイノデアリマスガ、斯様ニ常識的ニ御伺ヒヲ致ス次第デアリマス

○賀屋國務大臣 私法人ト申上ゲマスノハ、詰リ法律論カラ出タ所デアリマシテ、心持ハ御述ベニナリマスヤウニ、全ク此ノ法律ノ第一條ニモアリマスヤウニ、國家的目的ガ明瞭ニナルヤウニ書イテアリ、總テノ構成モサウ云フ風ナ趣旨ナノデアリマス、唯是ガ法人トシテ、ソレガ公法人ナリヤ、私法人ナリヤト云フ法律論ヲ致シマス、是ハドナラカト云フト、私モソコハ專門家デアリマセヌデ、私法人ニナルサウデゴザイマスト申上ゲル譯デゴザイマス、心持ハモウ御話ノ通りデアリマス、今回ハ第一條目的ノ非常ニ明カニ致シ、總テガ第二條以下ニ於テ此ノ氣持ガ出ルヤウニナリマシタガ、其ノ「テクニク」、法律ノ專門技術カラ申シマス、ヤハリ是ハ所謂公法人ト云フ形式論ニ嵌マラスデ私法人デ宜シイ、斯ウ云フ意味合デアアルノデゴザイマス

○栗山委員 私ハ此ノ際國民ハ勿論ノコト、共榮國內ノ民族ニモ強ク觀念的ニ認識ヲ強メル爲ニ、日本銀行法ヲ大日本銀行法ト云フ風ニ大ノ字ヲ一ツ加ヘラレテ明確ニサレタラ如何ナモノデアリマセウカ、ソレハ希望ト致シマシテ、次ニ私ノ御伺ヒ致シタイノハ、前カラ申上ゲルヤウナ考ヘ方カラ、此ノ際大藏大臣ハ進ンデ日本銀行總裁ヲ御兼ネニナラレタラドウカ、寧ロナラレルヤウナ規定ヲ設ケテ行カレタ方ガハツキリスルノデハナイカ、ソレハ實ハ豫算總會ニ於キマシテモ承ツタヤウニ存ジマスガ、東條總理大臣ハ陸軍大臣ヲ兼ネ内務大臣ヲ兼ネテ居ル、蓋シ此ノ非常時デアレバコソ、曾テ

ナイ此ノ兼任ニ依ツテ其ノ責任ニ立タレテ居ル、非常時局ノ爲ニ左様ナ形ヲ執ラレテ居ルト云フコトハ、東條總理大臣ガ大政變理ノ任ニ當タラレタル其ノ任務ノ重キニ鑑ミテ、非常ナ責任感カラ出タモノデアラウト思フ、且又人間東條英機トシテノ所謂人格ノ現レデアル、私ハ斯様ニ敬意ヲ拂ツテ居ルノデアル、井野農林大臣ガ拓務大臣ヲ兼ネテ居ル、此ノ形ハ當分變ヘナト云フコトヲ當局ハ申シテ居ラレル、私トシテハ御尤モデアルト思フ、ソコデ此ノ劃期的大改正ノ機會ニ於テ、荷フベキ日本銀行ノ職能ト云フモノハ非常ニ重大デナケレバナラスト思フ、洵ニ大キナ責任デアルト考ヘマス、此ノ際進シテ大藏大臣ニココマデ一ツ御精進ニナラレルヤウニ私ハ希望スルノデアリマスガ、御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 大藏大臣ト云フ仕事ハ隨分忙ガシモノデアリマシテ、昔ノ或ル人ガ大藏大臣カラ内務大臣ニ送ラレマシテ——内務省ト云フ所モ相當忙シイ所デアリマシガ、用ガ三分ノ一ニ減ツタト云フ話デアリマス、而モソレハ平時ノ場合デアリマシテ、今ハトモ忙シクナツテ居リマスガ、私共ト致シマシテモ滿洲事變前ノ大藏省ト云フモノト、ソレ以來今ノ大藏省ト云フモノトハ、實ト量トニ於テ大變ナ違ヒデアリマス、是ハ私ノ不敏ノセイデアリマスカ、此ノ内閣ノ組閣以來、昨日ノ日曜マデ、出勤シナイ日ハナイヤウナ譯デ、此ノ上日本銀行總裁ヲ兼ネマシテモ中々用ガ多イ、ヤハリ是ハ然ルベキ人ニヤツテ貴ヒマシテ、大局ノ指導監督ハ大藏大臣ガ致シマスガ、皆ソレノ受持デヤリマシタガ宜イ、斯ウ云フ風ニ今考ヘテ居リマス

○栗山委員 私ハ前回ニ御伺ヒシタコトヲ繰返スヤウデアリマスガ、大事ナ問題デアリマスカラ特ニ御許シヲ願ヒタイ、此ノ大キナ戰爭目的ヲ達スル爲ニドウシテモ是ハ日本銀行ノ性格、業務ノ内容ヲ御變ヘニナツタト云フ御精神カラ、正金銀行モ合ハセル、ソレカラ臺灣銀行、朝鮮銀行ナドモ合ハセテ一ツニスル、詰リ管理ヲ大藏大臣直屬ノ下ニ、銀行局ト爲替局ト合セタ大キナ外局ヲ置イテ、大藏御當局ハ勿論ノコト、陸海軍及ビ日本銀行、正金銀行、臺灣銀行、朝鮮銀行其ノ他民間ノ有力銀行等ヨリ練達堪能ノ經驗者ヲ包容シ、又學者モ入レテ、一貫シタル國策、極メテ賢明ニシテ力強イ政府ノ抱負經綸ガ共榮圈ノ隅々マデ流レテ行ク、斯ウ云フ風ナ建前ニ一ツ飛躍ナサレテハ如何カト考ヘルノデアリマスガ、大藏大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○賀屋國務大臣 日本銀行ハ外ニ對シマシテモ内ニ對シマシテモ、先ツ銀行ノ銀行ト云フヤウナ所デアリマスカラ、外ニ對スル爲替關係ト致シマシテハ、ヤハリ正金銀行、臺灣銀行其ノ他ノ直接爲替ノ現業ニ當ル機關ヲ皆設ケマシテ、簡單ニ申セバソレノ最後ノ所ヲ日本銀行ガ握ツテ居ル、斯ウ云フ體制デ參リタイ、極ク碎イテ申上ゲマスレバ此處ガ本部デ、皆出先ニソレノ實地ノ活動ニ出テ居ルト云フ體制デ參ツタガ適當デハナイカト存ジテ居リマス、ソレカラ大藏省ノ内部ニ付キマシテハ、豫算決算ノ事務、租稅ノ事務、專賣ノ事務及ビ營繕ノ事務ノ四ツヲ除キマス、アトハ皆内外ノ金融、監理局、國民貯蓄獎勵局、預金部、爲替局、斯ウ云フ風ニアリマスガ、殆ド資金

ノ或ハ蓄積、或ハ適正ナル配分、ソレガ外ニ向ヒ内ニ向ヒト云フ關係ニナリマス、ソレデ今其ノ中デ預金部ノ如キ外局ノモノモアリマスガ、殆ド大藏省ハ歲計、租稅、專賣以外ハ全部金融ノ仕事デアリマス、尙ホ多少機構ノ上ニ付テ考ヘナイコトモナイノデアリマスガ、殆ド大藏省ノ部局ノ三分ノ二ハ金融部局デアリマス、之ヲ中樞企畫的ニ大臣次官デ總ベ指揮シテ參リマシテ、ソレガ實地ニ働ク所ニ日本銀行アリ、更ニ其ノ前ニ正金モアレバ臺灣銀モアリ、内地ニハ各種ノ特殊銀行ガアルト云フ風ナ仕組デズツト參リタイ、斯ウ思ツテ居リマス

○栗山委員 實ハ私此ノ質問ヲ申上ゲマスコトハ、滿洲事變モ支那事變モ實ニ意外ナル發展ヲ致シマシテ、其ノ結果ハ、日本帝國ノ爲ニ洵ニ有難イ惠マレタモノトナツテ參リマシタコトハ御同慶ニ堪ヘマセヌ、併シ其ノ日本ノ勢力ノ及ブ地域ガ擴大スルニ從ツテ、其ノ跡ヲ眺メマス、通貨ノ上カラ申スト非常ニ面倒ガ生ジテ居ル、其ノ面倒ナ原因ヲ此處デハ詳シク申上ゲルコトハ省キマスガ、通貨ガ複雑デアルト云フコトガ一ツデアリマス、ソレカラ外國ノ通貨及ビ權益ガ非常ニ日本ノ通貨政策ヲ妨害シテ居ツタコトヲ擧ゲネバナリマセヌ、所ガ今同大東亞戰ノ赫々タル緒戰ノ戰果ニ依リ、支那カラ全面的ニ英米ノ勢力ヲ驅逐シ更ニ東亞ノ廣域ヨリ彼等ノ權益ヲ一掃スル機運ニ達シテ居ルノデアリマス、英米トハ物資交易ノ上ヨリモ全ク絶縁シテシマツタ、サウ云フ事態カラ考ヘマス、通貨ノ面ニ於テモ日本ハ日本ノ大局カラ見テ自主の方針ニ依ツテ、一貫セネバナラナクナツタノデアリマス、通貨政策ニ於テ極メテヤリ易クナ

ツタ、非常ニヤリ易クナツタ、形ノ上カラヤリ易クナツタノミナラズ、精神ノ方面カラ言ヒマシテモヤリ易クナツタノデアリマス、非常ニ好イ機會ガ目前ニ到來シタノデアリマス、斯ウ云フヤウナ機會ヲ捉ヘテ一貫不動ノ方針ノ下ニ通貨ヲ單純化スル、命令系統モ亦明確ニスルト云フヤリ方デ行カレタガ、實際末梢尖端ニ至ルマデ全面ヲ通ジテ圓滑ニ交流シ、廣域内ノ人々ニ非常ニ便利デアツテ又理解シ宜クナルモノト信ジマス、改正法ニ依リ日本銀行ガ爲替ノ作用ヲ行ヒ、正金銀行モ重要ナ業務トナツテ居ル、性格ニ於テモ正金銀行ハ私法人デアツテ日本銀行モ亦私法人デアル、政府ノ意圖ヲ受ケルモノガ二途ニナツテ居ルヤウナ形ニナツテ來テ居ル、而モ實際ノ實力性能ニ於テハ日本銀行ト正金銀行トハ問題デハナイ、ケレドモ運用ニ於テハ同様に立場ニ立ツテ居ル、例ヘバ昨日日本會議デ私ガ伺ツテ居リマス、南方開發金庫法案ニ對スル委員長ノ報告ノ中ニ、爲替關係ニ付テハ正金ヲシテ取扱ハセルト申シテ居リマス、ソコニ一ツ「トンネル」ガ出來テ來ルノデアル、物ト通貨トノ關係ハ非常ニ敏感ナモノデアルコトハ申上ゲルマデモアリマセヌガ、是ハドウシテモ敏感デアルダケソレダケニ、第三者ニ策動ノ餘地ヲ與ヘナイヤウニ、一本ノ命令系統ニ依ツテ國家ノ意思ト云フモノガ何等ノ障礙ナシニ、電光石火ニ響キ渡ルヤウナ形ヲ執ラレルコトガ何トシテモ必要デアル、是ハ大藏大臣ガ北支開發ノ總裁トシテ、大分金融難ノ時ニ御苦勞ナサレテ、大藏大臣ノ力量ニ依ツテ難局ヲ切抜ケラレテ、北支開發ノ礎石ヲ置カレタコトハ能ク存ジテ居リマシテ、敬意ヲ表スルノデアリ

マスガ、併シマダ中々氣ハ許セナイ状態ニアル、サウ云フコトハ何カト云フト、支那ダケニ付テ吾々ノ活キタ體驗ヲ顧ミマス、北ハ北、中支ハ中支ト、各、一ツノ理念ヲ持ツテ居ル、各、一ツノ方針ヲ持ツテ居ル、國策ノ上ニ立ツタ所ノ理論ヲ持ツテ居ル、私共ノ常識カラ考ヘテ之ヲ何トカセネバナラスカト思ヒマスケレドモ、實際ハ中々困難ナ事情ガ横ハツテ居ル、併シサウシテ何時マデモ置ク譯ニ行カナイ、ドウニカシナケレバイケナイト云フコトハ、實際支那ノ困難ナ通貨ノ對策、ソレカラ經濟建設、ソレガ共榮圈ニ於ケル所ノ大キナ役割ヲ持ツト云フコトヲ考ヘル時ニ、是非トモ大藏御當局ガ非常ニココデ御奮發ナスツテ、簡單ニ明瞭ニ國家意思ガ傳達シ得ルヤウニサラナケレバナナイト私考ヘルノデアリマス、此ノ戰爭ガ實ニ重大ナ戰爭デアルト云フコトヲ考ヘレバ考ヘル程、通貨ノ面ニ於テ一ツ大藏大臣ニ御奮發ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、ソレカラ先ヲ申シマスト又祕密會デモ要求シナケレバナラスコトニナリマスカラ、此ノ程度ニ止メテ置キマスガ、サウ云フ考ヘ方カラ此ノ質問ヲ致シタ私ノ氣持ヲ諒トセラレンコトヲ御願ヒ致シテ置キマス

〔田村委員長代理退席、委員長着席〕

○賀屋國務大臣 何トシテモ英米カラ重要ナ物資ヲ輸入スル必要ガアリマシタ時代、而モ支那ニ於テ上海ノ租界ノ如キ經濟上非常ニ有力ナル地域ガ特別ナ法律關係係、汪精衛政府ノ思フ儘ニモナラナイト云フヤウナ時ニ、非常ニ通貨其ノ他ノコトデ困難ヲ感シマシタコトハ御話ノ通りデアリマスガ、愈、大東亞戰爭ガ起リマシテ、左様ナコトガ

綺麗サツパリ洗ハレマシテ、通貨其ノ他ノ關係係非常ニヤリ易クナツタ、ト云フヨリハ我が國ガ指導的地位ニ立ツテ參リ得ルヤウニナツタコトハ、正シク御述ベニナツタ通りデアリマス、日本ガ東亞ノ金融ノ中心ニナリタイト云フコトハ何人モ思フ所デアリマスルガ、今マデハサウ申シマシテモ、ヤハリ空論デ、皆「ボンド」ニ依ツテヤルト云フヤウナ實情デアツタノデアリマスガ、斯ウ云フ時期ニナリマシタカラ、政府モ東京ヲ以テ東亞ノ金融ノ中心點ニスル、日本銀行ヲ以テ中心トスルト云フ意思モ明白ニ申シ得ル状態トナリ、又ソレヲ目標トシマシテ努力シテ、之ヲ十分ニ達成シ得ルト思フノデアリマス、ソレデ、個々ノコトハ、例ヘバ正金ト日銀ニ致シマシテモ、何レモ爲替業務ヲ致シマスガ、是ハ職能ガ截然ト區分ガアルノデアリマシテ、個々ノ商社ナリ商人トノ爲替取引ハ正金ナリ臺銀ナリガシテ、其ノ爲替ノ決済凡全體ノ勘定ト云フモノハ日本銀行ガ握ルト云フ風ニ、是ハ職能ガ違ヒマシテ、組織的ニ、寧ロ上下ト申シマスカ、區分シテヤルコトデアリマスルシ、又南方ニ致シマシテモ、各占領地ガ廣汎ナ地域ニ互リ、又各、海ヲ隔テテ異ルノデアリマスカラ、「ベソ」モ「ギルダ」モ「ダラ」モ一遍ニ之ヲ同ジ通貨ニスルト云フコトハ是ハ又出來マセヌ、所謂實情ニ應ジテヤルノデアリマスルガ、ソレ等ノ個々ノコトヲ除ケマシテ、全體ニ通ズル今御質問ノ氣持ハ、最後ニ御述ベニナツタ所デ私ニハ能ク分ルノデアリマス、支那モ獨立政府デアリマスルガ、日本ハ所謂兄貴分トシテ中心ニナツテ行クコトデアリマスルシ、非常ニヤリ易クナリマシタ時デアリマスルカラ、萬

般サウ云フコトニ付キマシテ從前ヨリ非常ニ改善ヲシテ行キタイ、而モ大東亞ノ金融圈ト云フモノヲ確立スル意味ニ於テ系統的ニ歩ヲ進メタイ、是ハ恐ラク御考ヘト同ジ心持デ居ルト思ヒマス

〔委員長退席、横川委員長代理着席〕

○栗山委員 私ハ大臣ニ對スル質問ハ此ノ程度デ終リマシテ、政府委員ニ一寸伺ヒタイト思ヒマス、速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○坂谷委員長 坂東幸太郎君

○坂東委員 私ハヤハリ現地ノ通貨問題デアリマスガ、之ニ關シマシテハ事務的ノ質問、或ハ事務的答辯ハ聽イテ居リマスガ、茲ニ政治的ノ意味カラ大臣ノ御意見ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○坂東委員 少クトモ今カラ立テラルベキ所ノ準備ガナケレバナラス、唯今ノヤウナ儘デ放任スルコトハ適當デナイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○賀屋國務大臣 放任ハ致シマセヌ、種々情勢ヲ注意シテ居リマス

○坂東委員 佛印並ニ「タイ」、是ハ圓「プロック」ノ範圍内ニナツテ居ル譯デアリマスカ

○賀屋國務大臣 英米トノ斷交以後圓「プロック」ノ範圍ニナツテ居リマス、細カイコトヲ申上ゲマス、佛印ハ多少マダ本國トノ關係モアリマスカラ、圓「プロック」ト云フノハ、完全ニト云フコトハ少シ言ヒ得ナイカト思ツテ居リマス

○坂東委員 結局南方ハ「タイ」、佛印ハ外國トシマシテモ、結局日本ノ勢力下ニアル

ト云フコトハ間違ヒナイノデアリマス、サウシマスルト、完全ナル南方ノ開發ノ盟主タル日本ノ立場カラ致シマスルナラバ、通貨制度ハ「タイ」、佛印其ノ他モ引括メテ日本ト同様ナ立場ニ置カレナケレバナラス、サウスルト日本ガ管理通貨制度ヲ採リマスル以上ハ、ヤハリ彼等南方地方ニ於キマシテモサウ云フ方針ヲ以テヤラセルヤウナ工合ニ日本ガ仕向ケテ、サウシテ近キ將來ニ於テ完全ナル連絡ガナケレバナラスト思ヒマスガ、ソレニ對シマシテノ御考ヘヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 只今御述ベニナリマシタコトハ全ク御同感デアリマス

○坂東委員 ドウカ同感デアリマスルナラバ、サウ云フヤウナ御考ヘデ今カラ——十分御研究モシテ居ラレマセウガ、尙ホ一層研究ヲセラレマシテ、萬遺算ノナイヤウニ方針ヲ確立サレンコトヲ希望致シマス

次ニ御伺ヒシマスノハ、假令日本ガ管理通貨制度ヲ執リマシテモ、金ハ必要デアルト云フ建前カラ、大臣ハ產金獎勵ハ元通りヤル、斯ウ云フ御話ガアツタ、所ガ其ノ金ガ現在日本ニ於テハ例ヘバ今日ノ「コスト」ハ生産費ガ一匁十五圓デアルトスル、所ガ近キ或ハ遠キ將來ニ於テ、アノ有リ餘ル「アメリカ」ノ金ガ其ノ半分デ買ヘル、言ヒ換ヘマスナラバ日本ノ品物ヲ二倍以上ニ買ツテ呉レト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、日本ハ大東亞共榮圈ノ立場カラ、「アメリカ」方面ニ品物ヲ買ツテ、貰ツテソレデ金ヲ入レル必要ハナイト御考ヘニナルカ、ソレトモ其ノ金ヲ取入レル方針デアアルノデスカ、之ヲ大臣ニ御考ヘヲ伺ヒタイ

○賀屋國務大臣 是ハドウモ其ノ場ニナツ

テ見マセスト吾々ニハ分リマセス、日本ガ物資ヲ出シテ金ヲ取ルカ、金ヲ成ベク取ラヌデ物資ヲコツチノ方ニ餘計持ツテ來ルヤウニスルカ、是ハ何レ餘程先ノコトニナリマスシ、又其ノ場合ノ情勢ニナツテ見ナイト分リマセヌ、當分ノ間ハ産金ニ付テハ大體前ノ機會ニ他ノ御質問ニモ御答ヘ申シタノデスガ、餘リ産額ヲ減サナイヤウニヤツテ參ル、ソレニハ買上値段モ下ゲル譯ニモ參リマセヌノデ、此ノ方針ヲ續ケテ參リタイト思ツテ居リマス

○坂東委員 詰リ私ノ申シマシタコトハ斯ウ云フコトニナルノデス、將來日本ガ大東亞共榮圈ノ「ブロック」ト米洲方面ト取引ヲスルカドウカト云フ問題デアリマスガ、其ノ問題ハ相當大キイ問題ニナリマスカラ、今直グ確答ヲ承ル譯ニモ行キマセヌガ、唯金ノ問題ニ例ヲ取ツテ大臣ノ御考ヘヲ承ツタニ過ギナイノデアリマス、ト同時ニ今一ツハ大東亞共榮圈方面ノ物産、此ノ物産ニ關シマシテ、官吏中ニハ、或ハ民間デモ、今カラ既ニ統制理念ニ依ツテ「ゴム」ヲ減ラストカ何ト云フヤウナ議論ガ流行シテ居リマスガ、ソレニ付テ私ノ意見ヲ申上ゲマスナラバ、ソレコソマダ早イ、原則的ニ申シマスナラバ、現在ノ「ゴム」ナリ或ハ砂糖ナリハ、其ノ生産ニ立脚シテ、サウシテ住民ノ利益、生活ヲ考ヘテ、徐々ニ改善シテ行ク必要ガアルト思フノデアリマス、詰リソレハ將來「ドイツ」中心ノ「ヨーロッパ」ノ「ブロック」、又日本中心ノ「アジア・ブロック」、此ノ二ツノ「ブロック」ガ米國等ノ「ブロック」ト貿易スルカドウカト云フコトニ關係シテ居ルノデアリマスガ、私ノ考ヘデハサウ何時マデモ戰爭バカリシテ居ルモノデハ

ナイト思フ、必ズ近キ或ハ遠キ將來ニ於テ有無相通ズル經濟上ノ原則的立場カラ、ヤハリ交易ヲスルヤウナ時ガ來ルト思フノデアリマス、サウシマスルト、現在ノ有餘ル物資ヲ高ク買ヘバ彼ニ賣ツテヤル、或ハ又向フガ買ヒタイト云フヤウナ時期ガ來ナイトモ限ラナイ、大東亞共榮圈ノ方面ノ物資ニ付キマシテハ慎重ナ態度ヲ以テヤラナケレバナラヌ、今カラ早ク何ヲドウスルト云フヤウナ、此ノ頃流行ノ官吏ノ所謂統制癖ト申シマスガ、サウ云フ理念カラ今カラソレヲ唱ヘルト云フコトハ適當デナイト思フノデアリマスガ、大體大藏大臣トシテ、又國務大臣トシテノ御考ヘノ片鱗デモ伺ハシテ戴キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 私モ御話ノヤウニ米國モ英國モ遂ニハ反省ヲスルト思ヒマス、反省ヲスレバ、ヤハリ世界中仲好クシテ參ツテ、物資モ有無相通ズルト云フコトガ必要デアリマス、ソレガ何時ノ日ニナリマスガ、徹底的ニ魂ヲ入替ヘルマデハ相手ニ出來ヌト思ヒマスガ、先ニハ何レサウ云フコトニナル、其ノ途中ニ於テドウ云フ風ニスルカト云フコトハ、是ハ物資其ノモノニモ依ルト思ヒマスシ、ソレカラ生産ヲ減ジテ置イテ又急速ニ回復シ得ル性質ノ生産モアリマスルガ、サウモ行カヌモノ、モ色々アリマスカラ、今ソレヲ一々ドウスウト急速ニ慌テ決メルト云フコトハ非常ニ早イト思ヒマス、併シ今申上ゲタヤウニ、重點ヲ何處ニ置クカト云フコトモアリマスカラ、何モカモ同程度ノ生産デ行クト云フコトモ考ヘラレヌノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、慎重ニ考究シテ參リタイト思ヒマス

○坂東委員 只今大臣ノ御答辯ハ私モ贊成デアリマス、今カラ餘リ理念驕ギラシテ急ニ變更スルコトハ適當デナイ、サウ云フ意味ノ只今ノ大臣ノ御答辯ヲ承リマシテ私ハ全ク贊成デ安心シマシタ

其ノ次ハ、是ハ關聯事項トシテハ話ガ餘リ大キクナリマスガ、要スルニ「アジア」ノ所謂東亞共榮圈ノ「ブロック」ト、「ヨーロッパ」ノ「ドイツ」ヲ中心ノ「ブロック」トノ其ノ外輪ノ接觸點ハ、結局「インド」地方ト中央「アジア」デアルト思フ、サウシマスト若シ是ガ接シテ居リマスルナラバ文句ハナイノデアリマスガ、所ガ人口四億カラ「インド」、中央「アジア」方面ヲ中ニ挾シデ居リマスカラ、其ノ兩「ブロック」ノ間ノ交通ガ不便デアル、結局此ノ兩「ブロック」ハ現在ハ軍事中心デアリマスガ、將來ハ結局經濟「ブロック」的ニナル、即チ此ノ兩「ブロック」ノ間ノ交通ヲ益、良クシナケレバナラヌト云フ問題ガ生ジテ來ル、所ガ現在ノ通路ハ北ノ「シベリア」鐵道ト「インド」洋ノ二ツシカナイ、所ガ「シベリア」鐵道ハドウナルカ分ラナイ、此ノ兩「ブロック」ノ交通機關トシテ果シテ極度ニ利用出來ルカドウカト云フコトハ分ラナイ、「インド」洋ヲ通ルト言ヒマシテモ、アノ長イ「マレー」半島ガアル、「マレー」半島ニ依ツテ恐ラクハ千五百「キロ」位遠廻リ即チ上下三千「キロ」迂廻ノ無駄ヲシテ居ルノデス、所ガ將來日本ノ貿易ト云フモノハ相當「インド」方面ニ對シテ進出發展スルコトノ可能性ガアルコトハ申スマデモアリマセス、「インド」人ハ綿布ダケデモ一人デ三「ヤード」、恐ラクハ十億「ヤード」ノ綿布ヲ買フ、從來日本カラ輸出ハ四億「ヤード」デアツタ、若シ十億

「ヤード」全部ノ綿布ヲ買ツテ呉レルナラバソレダケデモ數億圓デアル、斯クノ如ク「インド」ト云フモノハ日本ノ大事ナ得意デアル、「シンガポール」ガ陷落シマスルナラバ、日本ノ作戰ハ「インド」洋ニ及ブ、サウシマスト結局「インド」ハ日本ガ取ラナクモ敵性ヲ排除シテ日本ノ貿易ノ最モ大事ナ得意先ニナル、其ノ意味カラ申シマシテモ、此ノ大東亞ノ「ブロック」ト「ヨーロッパ」ノ「ブロック」ノ交通線ヲ短クスルト云フコトハ必要デアル、此ノ點カラ申シマシテ、「マレー」半島ノ適當ナル所ニ運河デモ築造スルナラバ、上下三千「キロ」ノ距離ノ短縮之ニ依ツテ「インド」中央「アジア」方面ニ物ヲ澤山安ク賣ルコトガ出來ルト云フコトモ考ヘラレル、ソコデ一ツ大藏大臣ハサウ云フ方面マデモ考ヘテ、此ノ「マレー」運河開鑿營團ト云フ位ナモノヲ造ルヤウナ、話ガ大キクナリマスガ、貿易ノ觀點カラサウ云フコトモ考ヘラレマスルガ、ドウデス國務大臣トシテノ何カ御意見ガゴザイマスカ

○賀屋國務大臣 南方方面ノ建設ニ付キマシテハ色々大キナ構想ヲ運ラサナケレバナラス、今御話ノヤウナコトモ前カラ耳ニシタコトモアルノデアリマス、構想ノ一ツトシテ採入レルノハ面白イト申上ゲテバ語弊ガアルト思ヒマスガ、甚ダ面白イヤウニ考ヘラレマス

○坂東委員 是ハ大キイニハ大キイノデスケレドモ、中央「アジア」橫斷鐵道ノ問題、是ハ既ニ問題ニナリマシテ、確カ調査會モ出來テ居ルト思ヒマスノデ、前ノモノヨリハ或ハ平凡カモ知レマセヌガ、大臣モ御知リニナツテ居ル筈デスガ、今述ベタ運河問題トモ關聯ガアル、ドウシテモ戰後ノ「ド

イツ」ト日本トノ關係、即チ「ヨーロッパ」ト「アジア」ノ兩「ブロック」ノ關係ガ經濟的ニ密接ニナル爲ニハ、交通距離ノ關係ヲ考ヘナケレバナラス、即チ南ニ於テハ「マレー」運河、中央ニ於テハ中央「アジア」横斷鐵道ト云フモノヲ考ヘナケレバナラス、ソレハ御意見ヲ御伺ヒスル程ノコトデモアリマセヌケレドモ、若シ何カ御考ヘガアリマセヌバ、參考ニ御伺ヒシテ置キタイ

○賀屋國務大臣 ドウモ御參考ニナル程ノ意見ハアリマセヌガ、航空路ト海路トソレカラ鐵道、ドウシテモ此ノ三本ハ私ハ握リタイト思ツテ居ル

○坂東委員 結構デス、其ノ位ノ御考ヘガアツテモ然ルベキデアルト思フ、此ノ頃ハ産業營園トカ何トカ云ツテ色々ナモノガ出ルガ、ドウゾモウ少シ今述ベタヤウナ大キナモノヲ作ツテ、本當ニ戰後ニ對處セネバナラスト思ヒマス、此ノ「アジア・ブロック」ト「ヨーロッパ・ブロック」トハ密接ナ關係ヲ保ツテ行カケレバナラスノデ、ドウシテモ米洲二十一箇國ハ將來經濟的ニハ敵性ヲ繼續シマセウカラ、ソレニ對抗スルニハ其ノ位ノ大キナ御考ヘモ必要デアラウ、斯ウ考ヘマシテ一寸話ハ大キ過ぎマスガ御伺ヒシタノデス、賢明ナル大藏大臣ハ國務大臣ト致シマシテ大體サウ云フ御氣持ガアルラシイノデ私モ安心致シマシタ、ドウカ十分研究ヲ進メラレマシテ、眞ニ大東亞共榮圈ノ開發、維持或ハ發展ノ爲ニ特段ノ御努力ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ又最初申シマシタ東亞共榮圈ノ金融制度ヲドウシテモ畫一的確立スルヤウニ、是モ十分ニ御研究ト御努力アラソコトヲ切望致シマシテ、私ハ是デ終リマス

○板谷委員長 龜井貫一郎君

○龜井委員 大體政府委員カラ御話ヲ伺ヒマシテ了承致シタ譯デアリマスガ、政府委員ニ於ケレマシテ大臣ノ御出席マデ御答ヘテ御遠慮ニナリマシタ四、五ノ點ニ付テ、簡單ニ大臣ノ御答辯ヲ得タイト思フノデアリマス、第一點ハ、此ノ前此處デ斯ウ云フ御話ガアツタ、大臣ハ御忙ガシイノデ速記録ヲ御讀ミニナラナイデセウガ、斯ウ云フ御話ガ此處デ出テ來タノデス、詰リ、蘭印ノ石油精製ノ技術ニシテモ、「ゴム」ノ栽培技術ニシテモ、或ハ原料「ゴム」ノ技術ニシテモ、相當程度高イモノデアアル、ソレデ、皇軍ノ赫赫タル戰勝、武力戰ニ依ル東亞共榮圈建設ノ後ノ經濟工作ニ付テ、間誤々スルト成果ノ幾分デモ毀損スルコトガアルト困ル、是非非常ニ表現ガ難カシイノデアリマスルガ、特ニ獨伊ハ盟邦デゴザイマス、隨ヒマシテ、何モ獨伊ニ對シテドウ云フ譯デハナイノデアリマスルガ、例ヘバ獨伊ノ防共協定ノ出來タ後デモ、「インド」市場ニ於テ人絹ニ對シテモ非常ニ日獨伊ノ競争ガ行ハレタ、其ノ時モ、初メ割當ラシヨウト云フコトデアツタノヲ、日本ノハ生産費ガ安イカラ宜カラウト云フヤウナ結果カラ、協定ヲシナカツタノガ思ハシクナカツタト云フコトモアリマス、ソコデ質問ノ形式ト致シマシテハ、大東亞共榮圈建設ニ關シテ、何モ私ハ内容ヲ具體的ニ伺ヒタイト云フノデアリマセヌケレドモ、日獨經濟協定、其ノ他何カノ話合ヒニ於キマシテ、ハツキリト「ドイツ」ノ技術及ビ資本——資本ト云フコトハ今日餘リ問題デハナイデセウガ、技術ノ東亞部面ニ於ケル活動ニ付テハハツキリシテ御話合ヒガ出來テ居ルカドウカ、今

日ノ狀態ヲ見マスルト、支那ニ於キマシテモ租界回收後ト云フモノハ、非常ニ方々ニ德國々々ト言フモノガ出テ參ル、是ハ話ガ付イテ居レバ結構デアリマスガ、十分付イテ居ルノデアアルカドウカ、ソレヲ先ヅ伺ヒタイノデス

○賀屋國務大臣 是ハ一ツ外務當局ヨリ御答スベキカト思ヒマス

○龜井委員 形式ハ外務當局、外務大臣デナケレバ言ヘナイデセウガ、「ウォルター」ガ經濟人デスシ、アレト外務大臣ガ話シテモ仕方ガナイシ、結局アナタガ外務省ト話ラシテ形式ガ付クノデスカラ、付イテ居ルノカ付イテ居ナイカ、是ハ仰シヤツテモ宜イデハナイデセウカ

○賀屋國務大臣 一寸御答ヘラ申上ゲ兼ねマス

○龜井委員 大體是ハ大事ナコトデアリマスルカラ、私ハ政府ヲ信頼致シマスガ、其ノ點ニ關シマシテ三國樞軸ヲ何處マデモ強化シナケレバナラスト云フコトハ、單ナル「ロマンティック」ナモノデナク、強化シナケレバナラス、ト同時ニ、具體的ニ今カラハツキリ御話合ヒガアツタ方ガ宜イト云フコトニ付テ、十分御高配ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレト本法案ハ關係ガアルノデアリマスガ、大東亞戰爭ニハ斷ジテ勝タネバナラス、大東亞共榮圈ヲ建設セネバナラス、高度國防國家ヲ作り、生産擴充ヲヤル、ソレノ一聯ト並行致シマシテ、玆ニ日本銀行法ガ出テ來ル、管理通貨ガ出來テ來ル、戰時金融庫ガ出來テ來ル、是ハ當然必要ニシテ、又缺クベカラザルモノデアコトハ吾々ハ十分了承スルノデアリマス、是デ初メテ日本ノ經濟ガ生産經濟ト云フ建

前ニナルノデヤナイカ、唯茲デ私ガ、或ハ同僚ノ二、三ノ方ガ心配サレルノハ、斯ウ云フコトニナルト、詰リ大臣モ仰シヤツテ居リマシタ惡性「インフレ」ノ問題ナノデアリマス、固ヨリ栗山君ノ言ハレタヤウニ、今戰爭ニ勝タケレバナラス最中デスカラ、小賢シキ議論ヲ今カラアデモナイ、斯ウデモナイトヤル必要ハナイノデアリマスケレドモ、大本ノ所ノ心構ヘハガツチリシテ置カケレバナラス、ヤハリ出來ルダケ好イ結果ガ出ルヤウニ、詰リ惡イ結果ガ出ナイデ済ムト云フ風ニ持ツテ行キタイト云フ點カラデアリマス、サウ云フ點カラ、要スルニ通貨ト云フモノハ物デ裏付ケテ行カケレバナラス、物ガ澤山出來ナケレバナナイノデアリマスガ、物ガ出來ルト云フコトハ、是ハ通貨面カラ言ヘバ會社ノ収益性ノ問題ニナル譯デアリマス、會社ガ、事業體ガ収益ガ上ガラナケレバ稅モ背負ヘナイ、公債モ持テナイ、生産擴充ノ資金ノ用意モ出來ナイ、ダカラ物ヲドン／＼造ル、其ノ物ヲ造ル會社ヲ通貨ノ面カラ見レバ會社ノ収益性ト云フコトニナル、収益性ト云フコトニナレバ、其ノ物ノ量バカリデヤナク、質ト云フ問題ニナルノデアリマス、其ノ物ガ裏付ケラレテ行カケレバ非常ニ危險ダ、物ヲ造ル爲ニヤツテ居ル經濟ナンデアルカラ、ソレハ申スマデモナイコトデアリマス、ソコデ會社ノ収益性ト申シマシテモ、自由主義ノ時代ト今トデハ會社ノ儲ケノ意味ガ違フ、詰リ鞘取經濟デハナクシテ、出來ルダケ能率ノ高イ經營カラ來ル會社ノ資本ノ収益性ヲ確保スルト云フコトニナルノデアリマス、サウ云フコトニナリマス、第一點ノ質問ヲ簡單ニ言ヒマス、サウ云フ風ニ此ノ金融

財政ト就行サセテヤツテ行ク爲ニハ、大臣御承知ノ通りデスカラ例ヲ引カテモ宜イノデスガ、「ドイツ」デモ金融制度調査委員會ガ出来タ後デ、三四年シテ會社法改正ガ行ハレテ居ル、私ノ方ハ唯理論トシテノ會社法改正デナクシテ、會社ノ収益ヲ上ゲルト云フ趣旨ガ違ツテ來タノデアリマスカラ、其ノ趣旨ニ適合スルガ如ク、會社ノ能率ヲ上ゲ得ルヤウナ經營體ニスルガ如ク、會社法ヲ改正シテ行カナレバナラス、會社ノ中ニ於ケル所ノ、例ヘバ常務取締役ノ權限デアルトカ、職場ニ於ケル責任デアルトカ、其ノ地位ノ安定デアルトカ、サウ云フコトガ、ドウシテモ會社法改正ガハツキリシテ來テ、サウシテ技術的ニ、本當ニ能率的ニ經營シテ行クモノガ収益ヲ上ゲルノダト云フ建前ヲ作ラナレバ、迎モヤツテ行ケナイコトニナルノデアリマスガ、此ノ點、會社法改正ニ付キマシテ、政府委員ハ貸ス方ノ者ハ斯ウ云フ風ニ性格ヲ變ヘテ來タガ、借リル方ノ會社法改正ハ是ハ大キナ問題デカラ、何レ大臣カラト云フ御話デ終ツタノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテ國務大臣トシテノ御所見ヲ承リタイト思ヒマ

ス
○賀屋國務大臣 此ハ此ノ産業能率ヲ上ゲルト云フコトガ非常ナ問題デアルト思ツテ居リマス、ソレハ誰シモ産業能率ヲ上ゲルト云フコトガ重要ダト云フコトハ勿論デアリマスガ、今ノ企業ノ經營方面カラ云ツテ、格段ナ意味ヲ持ツノデアリマス、ト申シマスノハ、總テガ所謂自由企業ト云フコトガ殆ドナクナリマシテ、個々ニハ自由ト思ツテ居リマシテモ、大體此ノ生産ハ此ノ程度ニ、此ノ分量ハ認メル、ソレ以上ニハ原料、

努力ヲ持ツテ行カナイヤウニスルト云フ全體ノ規制ガ皆來テ居リマス、又刻下緊要産業トナレバ、所謂「コスト」ガ高クテモ是ハヤラナレバナラス、ソコデ補助ガアリ、各種ノ助成ガアルト云フコトニナツテ居ル、此ノ形態ノ一方ニ於ケル弱點ト云フモノハ、如何ニソレガ能率ガ上ラスデモ、企業ノ存在シ得ルト云フ所ニ私ハ一ツノ非常ナ弱點ガアルト思フ、是ガ正確ニ能率ヲ上ゲテ運バレルヤウニナルト云フコトガ、サウ云フ方式ニ行キ得ルト云フコトガ、此ノ今ノ計畫經濟、統制經濟ト云フモノガ眞ニ役ニ立ツテ行ク上ニ於テノ缺クベカラザル要件デアル、而モ其ノ要件タルヤ、斯ウヤレバ出來ルト云フヤウニ簡單ニハ行カナイ、凡ユル精神的要素、構成、組織ト云フモノガナクテハナラス、精神的要素モ、又組織的要素モ、技術的要素モ、是ガ旨ク調和ヲ得テ働キマシテ出來ルコトデアラウト思ヒマス、今御質問ニナリマシタハ要スルニ會社ノ實際ノ構成ト申シマスガ、人的組織其ノ他ノ問題デアラウト思ヒマスガ、其ノ意味ニ於テ私ハ率直ニ申シマス、ドウモ其ノ方ハ不得手デアリマシテ、ドウ具體的ニヤルカト云フコトニ付テ成案ヲ持ツテ居リマセスガ、兎ニ角此ノ計畫經濟、統制經濟ノ將來ノ運営ニ付テハ極メテ重大ナル點デアルト思ツテ居リマス、其ノ點ニ付テハ十分ニ自分モ考ヘテ行キタイ、ソレデドウモ今政府ノ意見トシテハ申上ゲ兼ねルノデアリマスガ、本當ノ廣イ意味デ國家目的ニ應ズルヤウナモノガ動クト云フ觀點ト、今御話ニナリマシタヤウナ觀點トノ兩方カラ、色々民間ノ會社ニ對スル法的問題モ今後相當ナ變革ヲ見ルト云フカ、發達ヲ見ルヤウ

ナ道程ニアル、斯ウ云フコトヲ非常ニ感ジテ居ル次第デアリマス

○勸井委員 大臣ノ極メテ御懇切ナル御答辯デ満足デアリマスガ、色々難グノ藹藹ダノ、通貨價值ダトカ「インフレ」ダトカ、色々議論ハ出來マセウガ、要スルニ事業體ノ収益性ヲ高メテ、公債ト稅ト生産擴充資金ヲ賄ツテ行ケルト云フ其ノ基本ガ立タナイト、全體ガ崩壊スルモノデアリマスカラ、此ノ點大臣ガ極メテ重大ト御認メ戴イテル點ハ洵ニ心強ク感ジマスガ、今一ツ序デニ大臣ニ申上ゲテ置キマス、一部ニハ總動員法ガアル、總動員法カラ移讓サレタ勅令ガアル、經理統制令ガアル、勞務管理令ガ最近出ル、ダカラ斯ウ云フ風ニ縮メテ行ケバ是デ國家目的ニ副ツテ一ツノ企業體ト云フモノハ合セテ行ケルカラ、オ前ノ言フヤウニ會社法ト云フモノヲ直グ考ヘナクテモ、ユツクリ考ヘテモ宜イノデハナイカト云フ議論ガアルノデスガ、大臣ノ御答辯ヲ伺ヒマシテ、ドウゾ政府内デー一ツ早ク御繼メ願ヒタイト云フノハ、事業體個々ヲ外カラ縛ラレテ參リマス國家統制デハ、業態自體ノ彈力性ガ出テ來ナイ、ダカラ只今粟山サンノ御質問ニ對シマシテ、日本銀行ハ私法人デアアル、ソレハ其ノ通りデアリマスガ、私法人デアリナガラ非常ナ公益的性格ヲ持ツ、サウ云フヤウニナツテ來ルノガ今日ノ時世デアリマス、私ノ企業體ト云フモノハ無論一ツノ企業體デアリマスガ、法的性格ヲ持ツノデアリマス、隨テ私法人ノ性格ヲ外カラ總動員法ダトカ、勅令ダトカデ縛ルト云フ恰好デナクテ、ソレガ斯ウ云フ性格デ伸ビルト云フ基本的ナ會社法ノ改正ニ關シマシテハ、産業關係國務大臣ト致シ

マシテ、大臣ノ特別ノ御配慮、御幹旋、御研究ヲ願ヒタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

第三點デアリマスガ、是ハ只今ノ同僚坂東君ノ質問程大キナ問題デアリマセスケレドモ、一寸政府ニ伺フコトダケデ、國務大臣トシテハ少シ仰シヤリニクイト云フ點ガアルト思フノデスガ、此ノ間大臣ガ居ラツシヤライ時ノ此ノ委員會デ、今ノ會社ノ収益性ヲ見ナガラ、單位當リノ勞働量ニ對スル生産高ヲ増シテ行クト云フ必要サノ議論カラ、相當從來ノヤウナ「コンマーシャル・バンク」ノヤウナ貸シ方デハイケナイノダ、本當ニ工業ガ伸ビテ行クヤウナ工業金融ニ入ラナレバナライ、入ル意思ガアル、ドウゾサウシテ下サイト云フ議論ガ出來ルト、ソコデ問題ニナツテ參リマシタノガ戰時金融金庫ナリ、金融機關ガ殆ド工業金融、産業金融ト云フコトニナリマスルト、其ノ監督ハ、金融サレル會社ノ監督ノ問題ガ大藏省方面ニ於テ會社部長及理財局長デアルカ、銀行局長デアルカ、茲ニダブツテ來ル譯デアリマス、其ノ點ハ更ニ本委員會ニ於テモウ少シ他ノ面カラ更ニ御質問モアルト思ヒマスルカラ私ハソレヲ省キマス、省キマスガ、サウ云フ風ニダブツテ來ル結果ガ、結局經濟省ダトカ何トカ云ツタヤウナモノニナルダラウト思ヒマス、サウ云フ戰爭ノ最中ニ大キナ行政機構ノ改革ト云フモノヲ私ハ根本的ニ取上ゲル必要ハナイノデスガ、唯サウ云フ目安ニ持ツテ行クト、商工省カラモソツチニダブツテ來ル、大藏省カラモソツチニダブツテ來ルト云フコトニナル、ソコデ是ハ一ツ餘程緊密ナ御連絡ヲ御取リ戴カナレバナラスト思フノ

デアリマススケレドモ、率直ニ申上ゲレバ、是ハ出來ルダケ能率のニ動キマスル爲ニハ、大藏大臣ト商工大臣ガ共管サレルヤウナ工業金融、例ヘバ一方ニ「ドイッ」ガヤツテ居リマスヤウナ物價ニ對シテ物價管理局ト云フ外局ヲ作ツテ居ル、金融ニシマシテモ地方「ブロッ」毎ニ一ツ何カ外局メイタモノデモ、經濟省ガ出來ルマデ御置キニナルヤウナ御考ヘ、御研究ガオアリデセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○賀屋國務大臣 實ハ私其ノ考ヘハアリマセヌ、私ハ前カラ斯ウ考ヘテ居リマス、大藏省トカ商工省トカ農林省トカ言ヒマシテモ、是ハ一ツノ現ハレナノデス、國家ノ政治ハ皆サウナノデアリマシテ、今技術、勞力ヲ離レテ産業ハナイ、ソレデハ厚生省ト云フモノハドウシテアルカ、別デアルカライカスト云フノデ、之ヲ一緒ニシテモヤハリ内別ニシナケレバナライ、私ニ言ハセレバ心掛ガ出來テ居レバ同ジヤウナモノデアル、唯道ガ眞直ガ附イテ居ルトカ居ナイト云フヤウナ意味ニ、機構ガ障礙ガアルヤウニ出來テ居レバ直サナケレバナライノデスガ、結局一ツノ所ニ集メルト、其ノ内デソレダケノモノヲ又分ケテ行カナケレバナライ、結局今ノ時代ハ五ヒニ力ヲ協セテ行クコトガ戰時最モ必要ナ點デアルト思ヒマス、金融デモ國債消化ノ外ハ全部産業金融ト申シテ宜シイ、大藏省ガ産業ノ金融部面ヲ受持ツト云フ覺悟デ私ハ進シデ居リマス、臨時資金調整法ヲ事變ノ初メニ作リマシタノハ、アレハ私ハ商工省ト相談ラシテ作リマシタノデスガ、是ハ皆人ハ金融ノ沙網ダト思ツテ居リマスガ、私ハアレハ企業ノ法制デアリ、物資ノ法制デアリ、

ソレヲ金融部面カラ行ク、斯ウ思ツテ常ニ其ノ心持デ當時カラ居リマシヤウナ次第デアリマス、殊ニ割合ニ金融ノ問題ハ、今企業デモ地域のヨリモ全國的ニナル傾向ガ非常ニ強イノデアリマス、只今ノ所デハヤハリ今ノ組織デ非常ニ緊密ニ行ク、大藏省ノ考ヘハ斯ウダ、商工省ノ考ヘハ斯ウダト云フノハ、孤立的ニナラスヤウニ一ツノ政治行政デオ互ヒニ同ジモノヲ此ノ面、此ノ面ヲ受持ツテ居ルノダト云フヤウナ眼カラ密接ニ考ヘテ參リタイ、斯ウ云フ考ヘ方ヲシテ居リマス

○龜井委員 大藏大臣ノ今ノ御答辯コソ洵ニ私ノ希望シテ居ル所デアリマシテ、サツキ説明ノ仕方ガ惡カツタノデスガ、個々ニ分レテ居ルモノヲ、仕事ガ一ツダカラト云ツテヤタラ一ツニシタ所ガ動クモノデハナイ、單ニ役所ヲ一ツニスルト云フコトハ寧ロ自由主義的ナ觀念論デアルトモ言ヘバ言ヘルノデアリマス、其ノ考ヘハ宜イノデス、宜イデスケレドモモウ一步進ンデ特ニ御考慮願ヒタイ點ハ、例ヘバ個々ニ事業ヲヤツテ居ル、金ヲ借リタイ、何處デ金ヲ借リテ宜イカ分ラナイ、ソコデマア砲彈ヲ削ルトナラバ大阪砲兵工廠ヘ行ク、ソコデ注意ヲサレテ勸銀ナリ、興銀ナリ、野村ナリニ行ク、行ツテ見ルト又ソレデモイケナイト云フノデ商工省、大藏省、軍部トグル一ツツテ歩クト云フコトニナル、成程大藏大臣ノ御心構ヘトシテハ實ニ立派ナンデ、ソレデナケレバナラヌケレドモ、結局其ノ間ニ迷ヘル者ガ中々多イ、ソコデ私ノ言葉ガ足リマセヌカラ話ノ誤解ヲ得マシタガ、一ツソレノ外局の世話業ト云フモノガ要ルノデハナイカ、是ハ斯ウ云フ譬ヘ話ヲシテ申

上ゲタ方ガオ分リニナルカモ知レマセヌケレドモ、私共翼賛會ノ一部ヲ受持チマシタ時、翼賛會ト云フモノハ政治力トカ何トカ云フヨリモ、斯ウ云フ問題ヲ民間カラ一ツ聽イテ來レバ、ソレハ大藏省ト商工省ト日銀ト警視廳ト、彼處ガ斯ウ言ツタ、是ハ斯ウ聽イタ、斯ウナンデスカラト云フ親切ナ道案内ヲシテ差上ゲル、良ク言ヘバ斯ウ云フ世話業デゴザイマスネ、サウ云フコトヲ非常ニ國民ハ要望シテ居ル、統制經濟ト云フモノハサウ云フ旨味——甘味ト云フノハ變デスガ、人情味ノアル世話業ト、上カラノ統制權力トガ一緒ニクツ付イテ行カナケレバ巧ク行クモノデナイコトハ御承知ノ通りデス、ヤタラニ仕事ガ一ツダカラ大藏省、商工省何デモ一緒ニシテシマヘト云フコトハ、サツキモ申上ゲタ通り、寧ロ自由主義的觀念論のナ行政改革トモ言ヘル、本

ハ一ツノ根ノモノガ二ツアルノダカラ、唯ソレヲ有機的連絡ヲ執ツテ戴ケバ宜イ、唯役所トシテ連絡ヲ取ル前ニ、國民ニハ大藏省の生活ト云フモノモナケレバ、商工省の生活ト云フモノモナイ、國民ノ生活ハ一ツナンデスカラ、斯ウ云フ問題ガアル時、是ハ何處ノ金融ヘ持ツテ行ツタラ宜イト世話ヲスル、斯ウ云フ時ニ殊ニ私ハ重大ニ思ヒマスノハ、大工場バカリデハゴザイマセヌ、産業能率ヲ上ゲル爲ニハ富士山ノ山麓經濟ガ大事デアル、備品工場、修繕工場ガ大事デアル、ソコノ金融ガ相當混亂シテ居ル、サウ云フモノヲ何處ヘ持ツテ行ツタラ宜イカト云フコトノ世話ヲ燒ク外局のナ、世話業のナモノガナケレバイケナイと思フノデアリマス、オ分リニナラナイデゴザイマセウカ——例ヘバ外國ノ例ヲ引クト甚ダ

マヅイデスケレドモ……分リマシタ、兎ニ角統制經濟ガ——戰時デアツテ平時デハナイノデスカラ、色々ナコトガ常識デハ行カヌノデアリマス、御話ノヤウニ色々ナ制度ノ運用ト云フモノヲドウシタラ宜イカ、役人モ民間モ端的ニ擷メナイト云フコトハ御話ノ通りデアリマス、サウ云フ機關ガ必要デアルト思ヒマス、只今ノ考ヘ方ト致シマシテハ、産業統制會ニ於テモ段々サウ云フ金融上ノ心配ガアルト思ヒマス、ソレカラ金融統制會ノ根本ノ方針ヲ決定シマシテ、早イ期間ニソレヲ作ラウト思ツテ居リマスガ、其ノ中ニ今ノ金融相談所ト申シマスガ、サウ云フ風ナ仕組ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○龜井委員 ドウゾ金融相談所ナルモノヲ、各方面廣ク速カナル御實施ヲ願ヒタイト希望致ス次第デアリマス
最後ニ一點伺ヒタイノデアリマスガ、是ハサツキ西川君トノ一問一答ヲ伺ヒナガラ、一寸疑問ガ出テ來タモノデゴザイマスカラ、折角此ノ點ヲ御解明願ヒタイと思フノデアリマス、大藏大臣ハ場合ニ依ツテハ將來金毛國際決濟ノ支拂ニ使フ場合ガアルト仰シヤツテ居ラレマス、無論其ノ場合ノ金ト云フノハ金鑄貨デハゴザイマセヌデ、全地金デ十分ナモノト思ヒマス、ソレヲ假ニ國際支拂ニ使フ場合ガアルト云フコトハ、吾々ハ具體的ニ考ヘレバ、日米關係ハマダ〳〵屈敵致シマスマデハ考ヘテナラナイノデアリマスカラ論外ト致シ、例ヘバ佛印ノ如キ、或ハ「ソ」聯邦ノ如キ、所謂金地金拂ガアリ得ル譯ナノデアリマス、此ノ金地金拂ガアリ得ル場合ニ於テノ金ハ、固ヨ

リ管理通貨が出來マシタ後ニ於テハ、是ハ金ト云フ一種ノ商品ヲ拂ツテ居ル譯ナノデアリマスガ、ソレニシテモ西川君ノ御質問ニナリマシタヤウニ、其ノ金地金ト云フモノハナリハ一ツノ圖ト結付イテ、其ノ價值其準ニ於テ支拂ハレルト云フコトニナルノデハナリカト思ヒマス、サウナリマスト茲デ一ツ問題ガ——問題デハナインデスガ、ハツキリ出テ参リマスノハ、大臣ノ御意見ハ、ハツキリト日本ノ國ノ國際通貨トシテノ價值ト、國內價值ト云フモノハバラ／＼デモ宜イノカ、國內價值ノ方ハ一ツ購買力ヲ基準ニシテ考ヘテ行ク、國際ノ方ハ從來ノ金ト聯關シタル圖價值ヲ以テ拂ツテ行ク、其ノ間ノ調節ヲ日銀操作デ巧キヤツテ行クト云フノデアリマセウカ、ソコハヤハリ何カノ連絡ヲ持タセルト云フ御考ヘナノデアリマセウカ

○賀屋國務大臣 法制的聯關ハ持タセナイ積リデアリマス、詰リ例ヘバ或ル物資デヤリ取ヲスル、ソレヲ幾ラノ價格決メタルト云フコトハ何處ノ談判デモ起ルト思ヒマス、ソレト同ジニ見テ行キタイ、同ジニ見テ行キタイト申シマスガ、假ニソレガ餘計方々デ使ハレルヤウニナリマス、ソコニ自ラ一ツノ相場ガアリマス、實質的ニ或ル物ノ相場ガ決マルト同ジヤウニ、日本トノ通貨ノ聯關ハ持ツテ参リマス、實質的ノ聯關デ行キタイ、斯ウ思ツテ居リマス

○龜井委員 大體大臣ノ御考ヘモ分リマシタカラ、是レ以上突込シテ言フ譯デハアリマセウカ、實質的聯關ヲ持ツト云フコトハ——此ノ際下ラナイ通貨理論ヲ振廻シテ伺フノデアリマセウカ、サウスルトヤハリ實質的聯關及ビ歷史的聯關ニ基礎ヲ置キ

ナガラ、多分ニ國策の考慮ヲ入レテ決メテ行ク、斯ウ云フコトニナル譯デゴザイマスネ、是ハ妙ナ言ヒ方デスガ、例ヘバ一例ヲ擧ゲレバサウ云フコトニナリマス、簡單ニ言フト斯ウ云フコトガアル譯デス、例ヘバ「アスキ・マルク」、「ロンドン」ニ對スル「マルク」ト、南米ニ對スル「マルク」ト違ヒマス、是ハ經濟的ナ遠ヒ方デハナクシテ、經濟ノ實情ニ即シタ國策の決メ方デアリマスネ、サレバト云ヒナガラ、ソレガ全然「ライヒス・マルク」ノ金ト離レテ居ル譯デモナイ、ソレハ一例デアリマスガ、サウ云フ風ナ意味デ説明ヲシタ譯デアリマス、サウスルトヤハリ事實聯關ハ持ツノデアアルカ、持タナインデアアルカ

○賀屋國務大臣 ソレハ國際決濟ニ金ガ餘リ使ハレナケレバ、事實聯關ト云フモノハ非常ニ薄イモノダト思ハレマス、使ハレル場合ガ多ケレバ割合ニ多クナツテ行ク、斯ウ云フコトデス、ソレハ「フレキシブル」ニ置イタ狀態ニ持ツテ行キタイト思ヒマス、其ノ點政策のニト云フコトニナリマス、詰リソコデ或ル程度ノ金ト云フモノハ國際決濟ニ要ル、コチラデ物資ヲ支出スル以上ニ、餘所ノ物資ヲ取ツテ來タイ、ソレガ現實ニ行ハレル、ソレデ產金ノ増産ヲヤリ、價格ヲ幾ラニ決メルカ、斯ウナリマスト御話ノヤウニ傳統的、沿革的以外ニ政策トモ結付イテ來ル、斯ウ云フ場面モアルト思ヒマス

○龜井委員 同僚ノ御質問モ澤山アリマスカラ、私ハ大體是デ伺ヒタイコトハ濟シタノデアリマスガ、尙ホ最後ノ一點、少シハ性格トシテハ重大ナ問題デアルト思ヒマスカラ、或ハ大藏大臣一人トシテノ御見解

ヲ伺フノモドウカト思ヒマスガ、此ノ議會ノ各大臣ノ御演說、質問應答等ヲズツト見テ居リマス、ソコニ一度ハツキリ伺ツテ置イタ方ガ宜イヤウナコトガアル、ソレハドウ云フコトデアルカト云フト、例ヘバ一部デハ統制會中心デ行ク、産業設備團中心デ行クト云フコトヲ非常ニハツキリ強ク伺フト共ニ、例ヘバ南方ニ關シマシテハ、此ノ速記ノアル席デハ申上ゲラレマセヌケレドモ、具體的ニヤルコトハヤルト決メラレテ居ルモノハ、個々ノ企業家デゴザイマスネ、ソコデ問題ハ斯ウナルノデゴザイマス、今ノ統制經濟ノ考ヘ方ニ付キマシテ、物價ヲ安定シ、サウシテ「インフレ」ニナナイヤウニスルト云フ諸般ノ統制ノ必要ノアルコトハ、申スマデモナイコトデアリマス、其ノ性格ハ殘シナガラモ、二ツノ點カラ此ノ統制經濟ヲ計畫經濟ノ線ニ沿ヒナガラ、モウ一步躍進セシメタラドウカト云フ意見ガアルト思ヒマス、一ツノ意見ハ、今マデノ日本ノ統制經濟ト云フモノハ動モスレバ籠城經濟デアリマス、南ニ出テ行クノ一歩進ンダ宜イデハナリカト云フ意見モアルノデアリマス、第二ノ點カラ言ヘバ、ドウモ統制經濟、官僚獨善ト云フカ、官僚ガ上カラグツト被サツテ來ル統制、國家ノ爲ニ主要點ノ統制ハ必要ダガ、産業ノ自立的、能動的意恩ト云フモノヲ、モウ少シ出サナケレバイケナイデハナリカト云フ考ヘ方モ第二點トシテハアル譯デアリマス、ソコデ此ノ日本銀行法ニ關聯シテ來ルノデスカレドモ、南洋共榮圈ノ開發方式ト云フモノハ……

○板谷委員長 龜井サン、御話中デアリマスガ、大臣ハ四時ニドウシテモ行カナケレバナラヌサウデスカラ、若シ御質問ガアレバ明日ニデモ願ヒマス

○龜井委員 モウ少シデス——南方共榮圈ニ對スル方式ト云フモノガ、善イ惡イト云フコトヲ申上ゲルノデアリマセウカ、今ヤツテ居ル方式デ言フト、國內ノ經濟方式ガ相當變ル用意ヲシナケレバナラヌト思ヒマス、變ルト云フノハ自由主義ニ戻ルト云フコトデアリナイ、統制經濟力ヲ更ニ本格的ノ計畫經濟ニ一步躍進スルト云フ意味ニ於テ、御考ヘニナラナケレバナラヌト思ヒマスガ、之ニ對スル大臣ノ御考ヘヲ承リタイ

○賀屋國務大臣 私ハ日本ノ計畫經濟、統制經濟ト云フモノハマダサウ進ンダモノデハナイト思ヒマス、段々ニ進メテ行キタイ、私ハヨク言フノデスガ、汽車ヲ或ル點デ九十度ニ線路ヲ曲ゲテ走ラセルコトハ出來ヌ、斯様ナコトヲヤツテハ駄デアル、或ル「カーブ」ヲ以テ廻ハシ、或ル半徑ヲ以テスレバ九十度ニモ變レバ、百八十度ノ轉換モ出來ル、併シ汽車ガ走ルノト違ツテ世ノ中ノコトハ暫クデツトシテ居ツテ直グ飛上ル、少シ「スロー」ニ行ツテ又飛上ルト云フヤウナ色々ナ段階ガアル、ソコヲ如何ニ旨クヤツテ行クカト云フコトガ一ツノ大キナ政治デアルト思フノデアリマス、今ノ南方ノヤリ方ト云フモノハ大體マダ戰爭シテ二月モ經タヌ、今戰爭ヲシテ居ル、ソコデ今斯ウヤラウト云フコトデ、餘リアレヲサウ型トシテ固ク考ヘ、重ク扱ツテ戴カヌ方ガ寧ロ宜クハナイカ、斯ウ云フ風ナコトヲ考ヘテ居リマス、隨テ今ノ南方ノ經濟開發方式ト内地ノ經濟方式トノ聯關ト云フコトハ、

モウ少シ理論ヨリモ所謂實際的ニ——眼ノ前

ト申シマスカ、ソレモ五日ヤ十日デハアリマ
セヌガ、考ヘテ、モウ少シ私ハ今後ノ構想ニ
俟ツ方面ガ多イダウト感ジテ居リマス

○龜井委員 能ク了解致シマシタ、私ノ質
問ヲ終リマス

○板谷委員長 此ノ際政府ニ要求シテ置キ
マス、大臣ニ對スル質疑ノ通告ハ武田徳三
郎君、世耕弘一君、田村秀吉君、山本桑吉君
及ビ委員長ヨリマダ質問ガ残ツテ居リマス
カラ、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス
ガ、大臣ニハ是非御繰合セ御出席アランコ
トヲ希望致シマス、本日ハ是ニテ散會致シ
マス

午後四時三分散會